

7. がい数を使った
計算 ①

名前

組 番

ねらい 和や差を概数で見積もることができる。

考(技)知

- ① ^{やおや}八百屋に行くど、次のものが売られていました。

トマト 297円

大根 128円

きゅうり 188円

みかん 489円

いちご 395円

ぶどう 587円

- ① トマト、みかん、きゅうりを買うと、代金の合計は何円ぐらいになるでしょうか。
百の位^{くらい}までのがい数^{もと}で求めましょう。

<式> $300 + 500 + 200 = 1000$

答え (**約1000円**)

- ② トマト、みかん、きゅうりのほかに、あと1つ何かを買って、代金の合計が約^{やく}1400円になるようにするには、何を買えばよいでしょうか。

<式> $1400 - (300 + 500 + 200) = 400$

約400円の品物は395円のいちご

答え (**いちご**)

- ③ 上の品物の中から2つ^{えら}選んで、代金の合計が約800円になるようにするには、何と何を
買えばよいでしょうか。

<式> **トマト 約300円、大根 約100円、きゅうり 約200円、
みかん 約500円、いちご 約400円、ぶどう 約600円**

トマト+みかん → $300 + 500 = 800$

きゅうり+ぶどう → $200 + 600 = 800$

答え (**トマトとみかん
または
きゅうりとぶどう**)

- ④ 上の品物6つを全部買うと、代金の合計は何円ぐらいになるでしょうか。
百の位までのがい数で求めましょう。

<式> **トマト300円、大根100円、きゅうり200円
みかん500円、いちご400円、ぶどう600円**

$300 + 100 + 200 + 500 + 400 + 600 = 2100$

答え (**約2100円**)

7. がい数を使った計算 ②

名前

組 番

ねらい 積や商を概数で見積もることができる。

考(技)知

- ① ^{はこ}1箱203円のチョコレートを19箱買います。
代金の合計は何円くらいになるか、見当をつけましょう。

〈式〉 $200 \times 20 = 4000$

答え 約4000円

- ② おかし屋で次のおかしを売っています。同じ種類のおかしを39個買って、代金の合計が約3500円になるようにおかしを買います。
どのおかしを選んだらよいでしょうか。



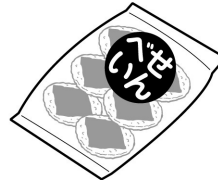
キャンディ
68円



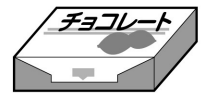
キャラメル
88円



グミ
78円



せんべい
126円



チョコレート
184円

〈式〉 キャンディ $70 \times 40 = 2800$
 キャラメル $90 \times 40 = 3600$
 グミ $80 \times 40 = 3200$
 せんべい $120 \times 40 = 4800$
 チョコレート $200 \times 40 = 8000$

答え キャラメル

- ③ 次の計算で、^{けいさん}積が2000より大きくなるものを選び、その記号を書きましょう。

Ⓐ 42×53 $40 \times 50 = 2000$

Ⓚ 25×69 $25 \times 70 = 1750$

Ⓒ 39×48 $40 \times 50 = 2000$

Ⓔ 81×26 $80 \times 30 = 2400$

答え Ⓐ Ⓔ

- ④ 次の計算で、商が約70になるものを選び、その記号を書きましょう。

Ⓐ $14480 \div 23$ $1500 \div 20 = 700$

Ⓚ $2394 \div 59$ $2400 \div 60 = 40$

Ⓒ $2785 \div 38$ $2800 \div 40 = 70$

Ⓔ $2946 \div 42$ $2900 \div 40 = 72.5$

答え Ⓒ Ⓔ

54

7. がい数を使った計算 ③

名前

組 番

ねらい 切り上げ、切り捨ての意味を理解し、目的に応じて用いることができる。 考(技)(知)

① おかし屋で、次のおかしを売っています。



アーモンドチョコ 287円



クッキー^{かん}缶 372円



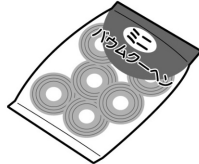
キャンディ 128円



せんべい 213円



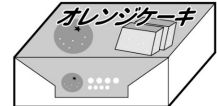
グミ 118円



ミニバウムクーヘン 274円



いちごパイ 265円



オレンジケーキ 324円

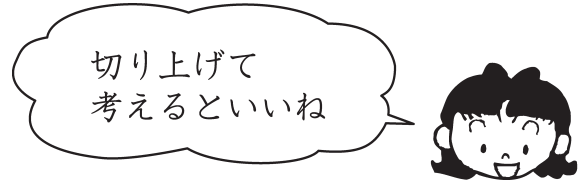
① のぶおさんは、アーモンドチョコとクッキー^{かん}缶とイチゴパイをそれぞれ1個ずつ買いたいと思っています。1000円で足りるでしょうか。

の中にあてはまる数を、()の中にはあてはまる言葉を書きましょう。

・アーモンドチョコ 約 **290** 円

・クッキー缶 約 **380** 円

・イチゴパイ 約 **270** 円



だから、1000円で(**足りる**)

$290 + 380 + 270 = 940$

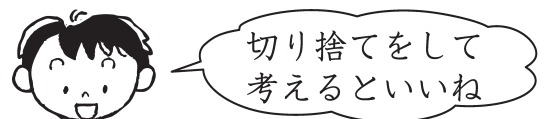
② みえ子さんは、600円以上の買い物^{いじょう}をすると福引き券を1まいもらえます。オレンジケーキとせんべいとグミをそれぞれ1こずつ買いました。福引き券は1まいもらえるでしょうか。

の中にあてはまる数を、()の中にはあてはまる言葉を書きましょう。

・オレンジケーキ 約 **320** 円

・せんべい 約 **210** 円

・グミ 約 **110** 円



代金は約 **640** 円になるので

福引き券は(**もらえる**)

7. がい数を使った計算 ④

名前

組 番

ねらい

身の回りの事象を数理的に捉え、概数を使った計算を活用して問題を解決することができる。

④ 技知

- ① よしゆきさんは、友だち4人とお楽しみパーティーをすることにしました。
 1人300円を出し合って、サンドイッチを作ります。下の中から必要なものを選んで、
 代金の合計をがい数で求めましょう。

品物	ねだん	品物	ねだん
レタス(1こ) ✓	198円	スライスチーズ(10まい) ✓	192円
きゅうり(1本)	36円	玉子(4こ入り)	128円
ハム(4まい)	154円	サンドイッチ用パン(16まい) ✓	362円
キャベツ(1こ) ✓	148円	トンカツ(1まい)	312円
トマト(1こ) ✓	98円	チキンカツ(1まい)	158円
ツナかん	108円	メンチカツ(1まい) ✓	136円

- ① よしゆきさんたちは、✓のしるしをつけた品物を買います。代金の合計は、約何円になるでしょうか。
 四捨五入して、百の位までのがい数で求めましょう。

<式> $200 + 100 + 100 + 200 + 400 + 100 = 1100$

答え 約1100円

- ② あやのさんは、友だち3人とサンドイッチを作ります。あやのさんたちが選んだ品物の合計は約何円になるでしょうか。
 四捨五入して、百の位までのがい数で求めましょう。

選んだもの	キャベツ	トマト	スライスチーズ	玉子	サンドイッチ用パン
ねだん	148円	98円	192円	128円	362円

<式> $100 + 100 + 200 + 100 + 400 = 900$

答え 約900円

8. 面積 ①

名前

組 番

ねらい 面積の比較、測定の仕方や意味について考える。

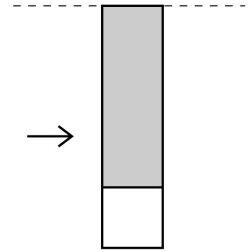
④ 技知

- ① けんじさんとゆみさんの広さのくらべ方は、下の□の中のア～エの長さや、かさのくらべ方のどのくらべ方とにているでしょうか。
 くらべ方のにているものをそれぞれ選^{えら}び、記号で書きましょう。



けんじ

長方形と正方形を
はしをあわせて重ねて、
はみだしたところを
切って、また重ねて
いったらいいかな？

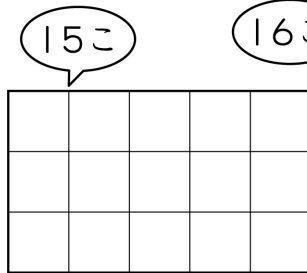


はみだした
ところ

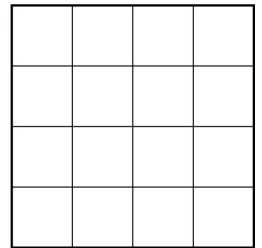


ゆみ

1cmの正方形がいく
つあるか数えて、
くらべたらどうかな？



16こ



- ア. 2本のえんぴつを立てて、長さをくらべる。
 イ. つくえのたてと横の長さを、けしゴムのいくつか分でくらべる。
 ウ. 2この水とうに入っている水のかさを、同じコップ何ばい分あるかをはかってくらべる。
 エ. 2この同じコップに入っている水のかさを、2このコップをならべてそれぞれの水面の高さでくらべる。

・けんじさんのくらべ方とにているくらべ方 (**ア、エ**)

・ゆみさんのくらべ方とにているくらべ方 (**イ、ウ**)

8. 面積 ②

名前

組 番

ねらい 面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」を理解する。

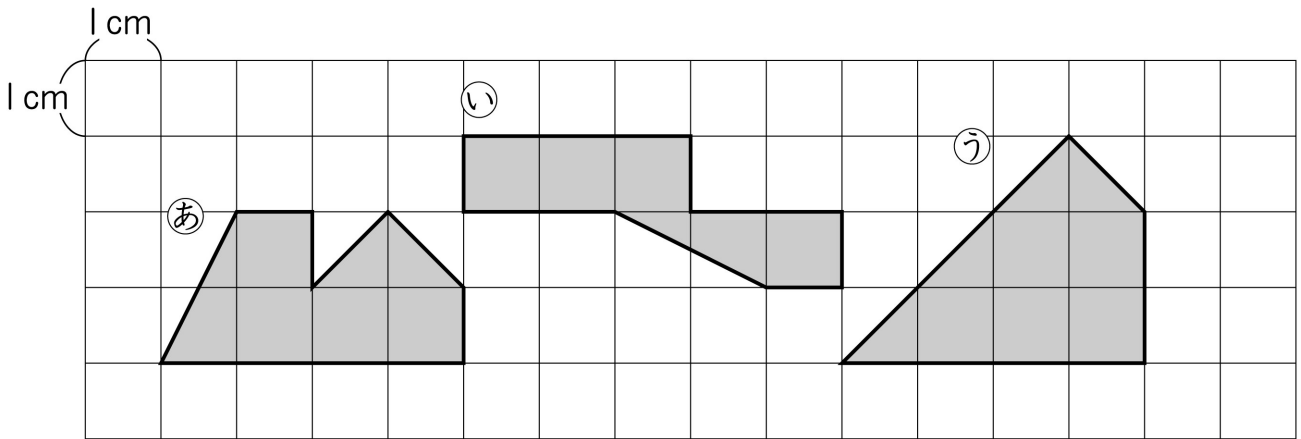
考技 ①

① () にはあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

1辺が1 cmの正方形の面積を (**1平方センチメートル**) といい、

1 cm^2 と書きます。

② 次の㉑～㉓の面積は、それぞれ何 cm^2 でしょうか。

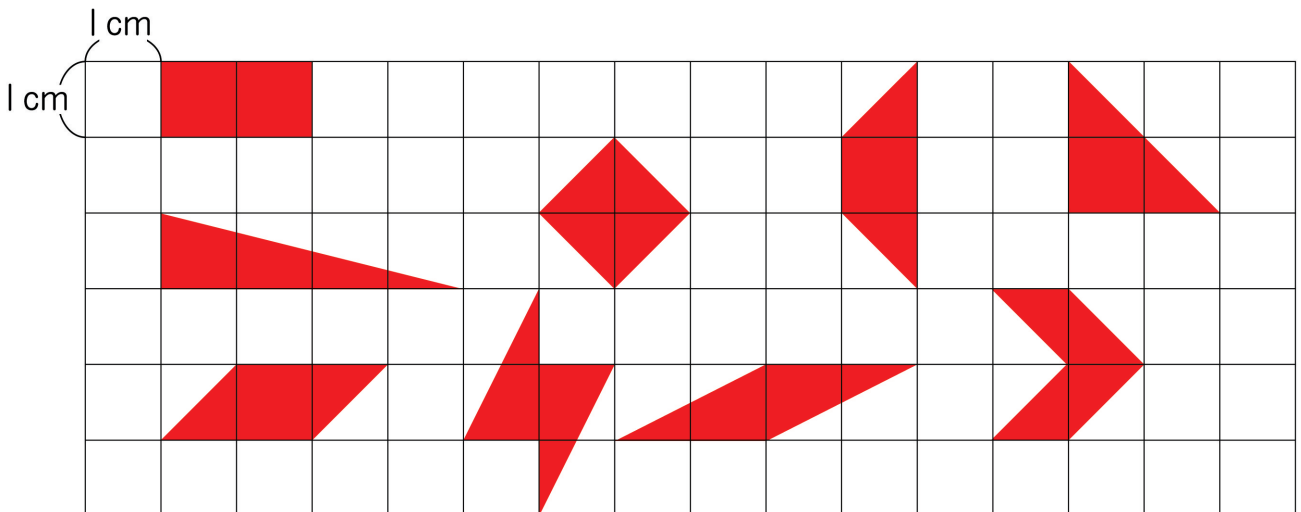


㉑ (**6 cm^2**)

㉒ (**5 cm^2**)

㉓ (**7 cm^2**)

③ 面積が2 cm^2 になる形を6種類かきましょう。(向きを変えたり、うら返したりして同じになる形は1種類とします。)



8. 面積 ③

名前

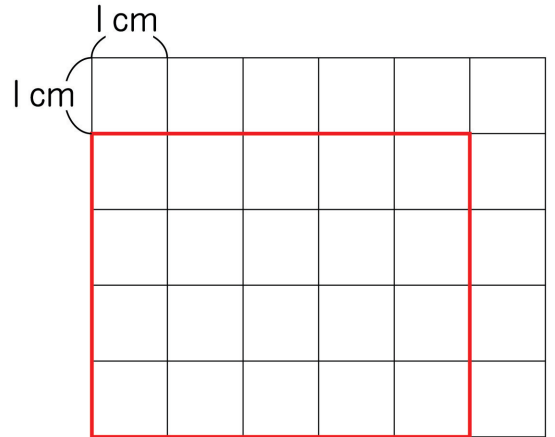
組 番

ねらい 長方形の面積を計算で求めるしかたを考える。

③ 技知

① たて4 cm、横5 cmの長方形について、次の問いに答えましょう。

① たて4 cm、横5 cmの長方形を右の方がん紙にかきましょう。



② □にあてはまる数を書きましょう。

● たては4 cmなので、たてに 1 cm^2 の正方形は

こならぶ。

● 横は5 cmなので、横に 1 cm^2 の正方形は

こならぶ。

● 長方形の中に、 1 cm^2 の正方形が全部で何こならぶのかを考えると、

たてに こずつならんだものが、横に れつあるから、

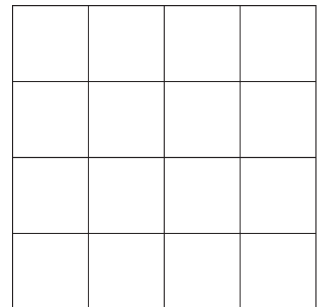
こが れつで、答えはかけ算の式で求めることができる。

<式> $4 \times 5 = 20$

答え 20cm²

② 右の正方形の^{へん}辺の長さをはかって面積を求めましょう。

また、□にあてはまる数を書きましょう。



① 1^{いっぺん}辺の長さは cmなので、

たてと横に、 1 cm の正方形はそれぞれ

こずつならぶ。

② 正方形の中に 1 cm^2 の正方形が全部で何こならぶのか

考えると、たてに こずつならんだものは、横に れつあるから、

こが れつで、答えはかけ算の式で求めることができる。

<式> $4 \times 4 = 16$

答え 16cm²

59

8. 面積 ④

名前

組 番

ねらい 長方形、正方形の面積の公式を理解する。

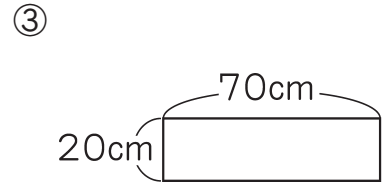
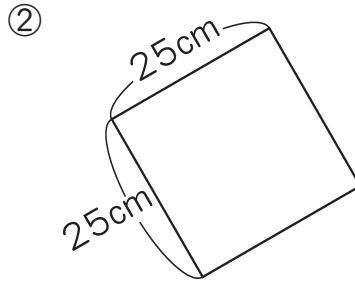
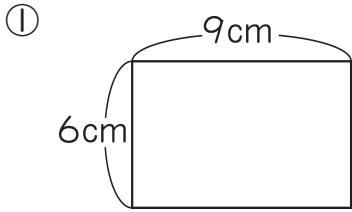
考(技)知

① () の中にあてはまる言葉を入れて、面積を求め^{めんせき}る^{もと}公式^{こうしき}を書きましょう。

長方形の面積 = (**たて**) × (**横**)
 (横) (たて)

正方形の面積 = (**1辺**) × (**1辺**)

② 次の長方形や正方形の面積を、公式を使って求めましょう。



〈式〉 $6 \times 9 = 54$

〈式〉 $25 \times 25 = 625$

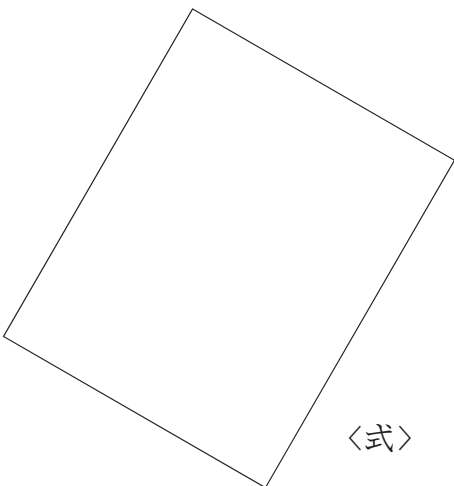
〈式〉 $20 \times 70 = 1400$

答え 54cm^2

答え 625cm^2

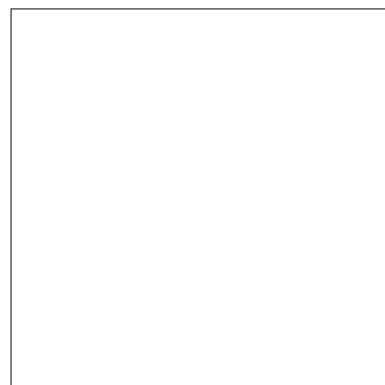
答え 1400cm^2

③ 下の長方形と正方形の辺の長さをはかって、面積を求めましょう。



〈式〉 $5 \times 4 = 20$

答え 20cm^2



〈式〉 $5 \times 5 = 25$

答え 25cm^2

60

8. 面積 ⑤

名前

組 番

ねらい 面積の単位「平方メートル(m²)」を理解する。

考(技)(知)

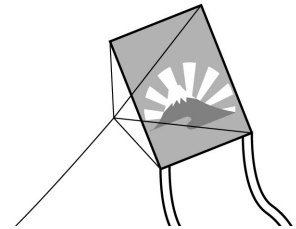
① () の中にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数や単位を書きましょう。

1辺が1mの正方形の面積を(**1平方メートル**)といい、

1 m² と書きます。

② たて7m、横5mの長方形の形をした大きなたこがあります。
このたこの面積を求めましょう。

<式> **7 × 5 = 35**

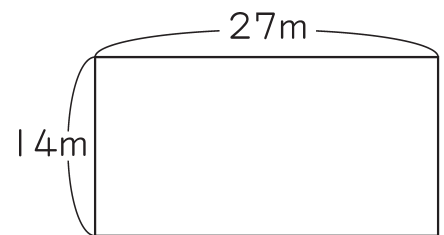


答え **35m²**

③ 公式を使って、次の面積を求めましょう。

① たて14m、横27mの長方形

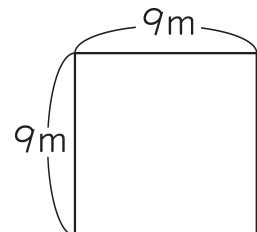
<式> **14 × 27 = 378**



答え **378m²**

② 1辺が9mの正方形

<式> **9 × 9 = 81**



答え **81m²**

61

8. 面積 ⑥

名前

組 番

ねらい 面積の単位「 m^2 」と「 cm^2 」の関係を理解する。

考技 ⑨

- ① $1m^2$ は何 cm^2 でしょうか。
□にあてはまる数を書きましょう。

$1m^2$ の正方形のたて、横には、 $1cm^2$ の正方形が、

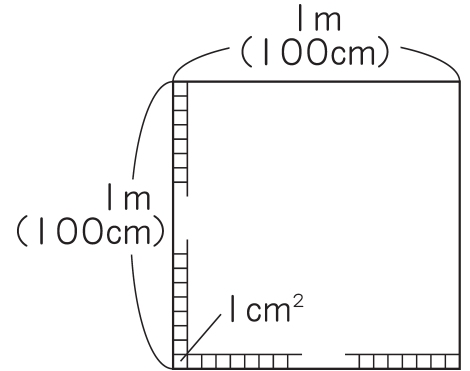
それぞれ **100** こならびます。

100 × **100** = **10000** となり、

たてに
ならぶ数

横に
ならぶ数

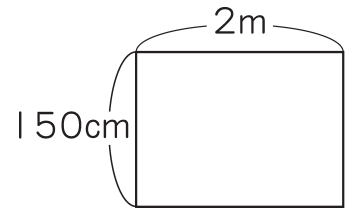
$1m^2 =$ **10000** cm^2 です。



- ② 右のような長方形の面積を求めましょう。

- ① たて150cm、横2mの長方形の面積は何 cm^2 でしょうか。

〈式〉 **$2m = 200cm$**
 $150 \times 200 = 30000$



答え **$30000cm^2$**

- ② 上の面積は何 m^2 でしょうか。

$10000cm^2 = 1m^2$
 $30000cm^2 = 3m^2$

答え **$3m^2$**

- ③ たて8m、横300cmの長方形の面積は何 cm^2 でしょうか。
また、何 m^2 でしょうか。

〈式〉 **$8m = 800cm$**
 $800 \times 300 = 240000$
 $300cm = 3m$
 $8 \times 3 = 24$

$240000cm^2$

答え **$24m^2$**

62

8. 面積 ⑦

名前

組 番

ねらい 身の回りの長方形や正方形の面積を求めることができる。

考(技)知

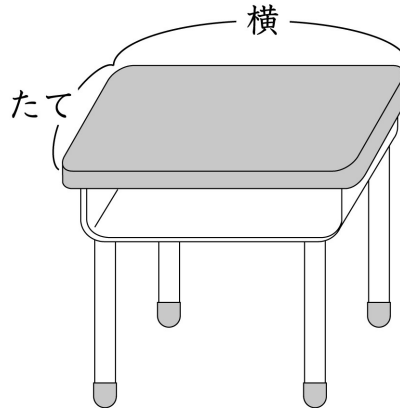
① 次の身の回りの長方形や正方形の形をした物の長さをはかって、面積を求めましょう。

① つくえ

たて **約40** cm

横 **約60** cm

面積 **約2400** cm²

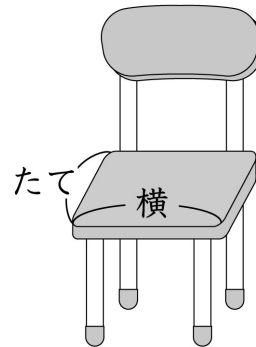


② いす

たて **約34** cm

横 **約36** cm

面積 **約1224** cm²



③ 算数の教科書

たて **約25** cm

横 **約18** cm

面積 **約450** cm²



ねらい 面積の単位「km²」と単位の間係を理解する。

考(技)(知)

① □にはあてはまる数を、()にはあてはまる言葉を書きましょう。

東京都や杉並区などのように広いところの面積を表すには、1辺が1kmの正方形の面積を単位とします。1辺が1kmの正方形の面積を(**1平方キロメートル**)
 といい、**1 km²** と書きます。

② □にあてはまる数を、()にはあてはまる言葉を書きましょう。

1 km²の正方形は、1辺が **1** kmの正方形の面積だから

正方形の面積 = (**1辺**) × (**1辺**) の公式にあてはめると

$$1 \text{ km}^2 = \boxed{1} \text{ km} \times \boxed{1} \text{ km}$$

1辺の長さをmの単位に直すと、1 km = **1000** mだから

$$1 \text{ km}^2 = \boxed{1000} \text{ m} \times \boxed{1000} \text{ m}$$

$$= \boxed{1000000} \text{ m}^2$$

③ たて15km、横4 kmの長方形の形をした土地の面積は何km²でしょうか。
 また、何m²でしょうか。

<式> **15 × 4 = 60**
60 × 1000000 = 60000000

または、
15km = 15000m
4 km = 4000m
15000 × 4000 = 60000000

答え **60km²**
60000000m²

ねらい 面積の単位「a、ha」と単位の間係を理解する。

考(技)(知)

① 田畑や山林のような土地の面積は、1辺が10mや100mの正方形の面積を単位をもとにして考えます。□にあてはまる数や単位を書きましょう。

① 1辺が10mの正方形の面積を **1アール** といい、

1a と、書きます。

② 1辺が100mの正方形の面積を **1ヘクタール** といい、

1ha と、書きます。

② 1aは何m²でしょうか。

1辺に1m²の正方形が **10** こならぶので **10** × **10**

となり、1a = **100** m²となります。

③ 1haは何m²でしょうか。

1辺に1m²の正方形が **100** こならぶので **100** × **100**

となり、1ha = **10000** m²となります。

④ 次のような畑の面積を求めます。□にあてはまる数を書きましょう。

① たて160m、横80mの長方形の畑の面積は **128** aです。

〈式〉 $160 \times 80 = 12800$ $1a = 100m^2$ だから
 $12800 \div 100 = 128$

② 1辺が600mの正方形の畑の面積は **36** haです。

〈式〉 $600 \times 600 = 360000$ $1ha = 10000m^2$ だから
 $360000 \div 10000 = 36$

65

8. 面積 ⑩

名前

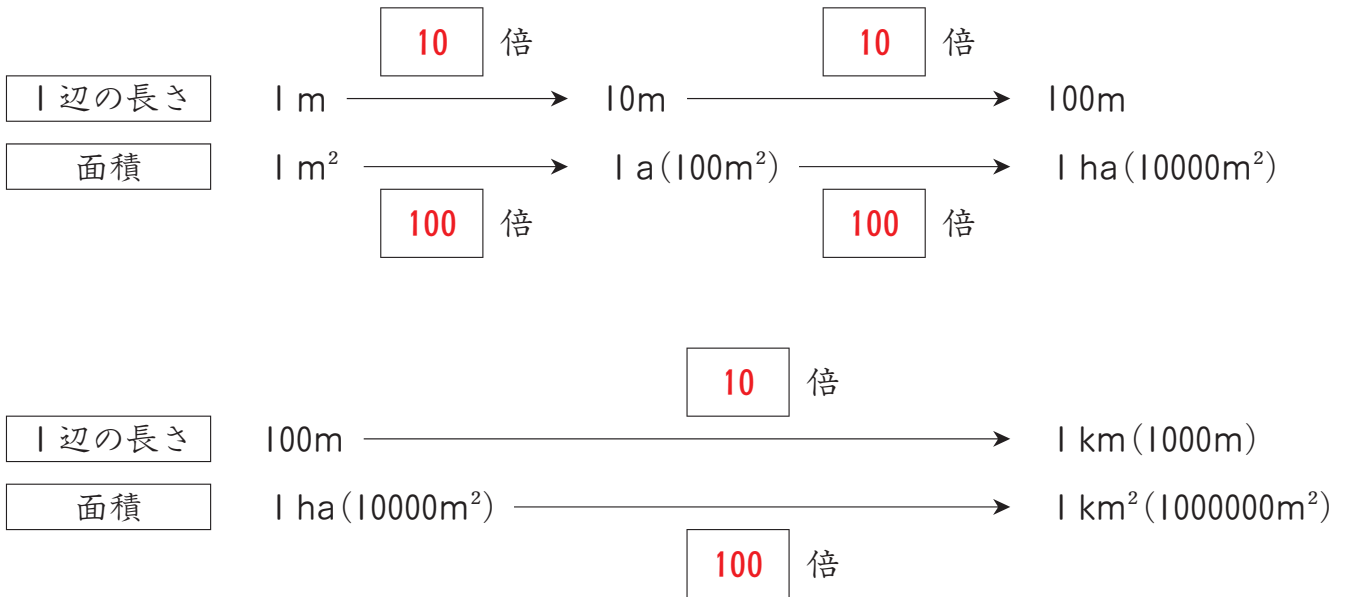
組 番

ねらい

1 m²、1 a、1 ha、1 km²の正方形の1辺の長さとの面積の関係を調べ、面積の単位について理解を深める。

考(技)(知)

- ① ^{めんせき たんい}面積の単位の関係を調べます。□にあてはまる数を書きましょう。



- ② ^{いっぺん}1辺が300mの正方形の形をした広場の面積を^{もと}求めましょう。

- ① 広場の面積は何m²でしょうか。

〈式〉 $300 \times 300 = 90000$

答え 90000m²

- ② 広場の面積は何haでしょうか。

〈式〉 $1 \text{ ha} = 10000 \text{ m}^2$ だから
 $90000 \div 10000 = 9$

答え 9 ha

- ③ たて700m、横900mの長方形の形をした^{ぼくじょう}牧場の面積は何haでしょうか。

〈式〉 $700 \times 900 = 630000$
 $1 \text{ ha} = 10000 \text{ m}^2$ だから
 $630000 \div 10000 = 63$

答え 63ha

66

8. 面積 ⑪

名前

組 番

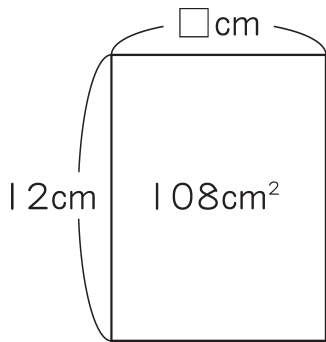
ねらい

長方形の面積の公式を用いて、面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求めることができる。

考(技)知

① ^{めんせき}面積の公式にあてはめて、^{こうしき}□を使った式に表し、^{もと}答えを求めましょう。

- ① たて12cm、面積108cm²の長方形の横の長さを□cmとします。
□を使った式に表し、答えを求めましょう。

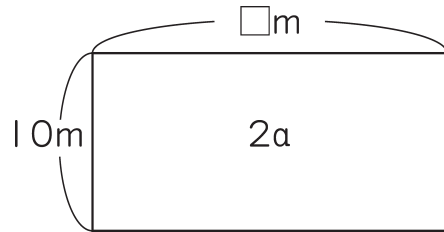


〈式〉 $12 \times \square = 108$
 $\square = 108 \div 12$
 $\square = 9$

答え 9 cm

- ② たて10m、面積2aの長方形の横の長さを□mとします。
□を使った式に表し、答えを求めましょう。

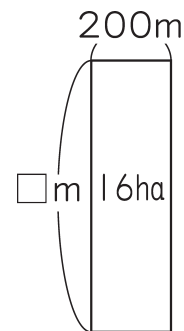
〈式〉 $2a = 200m^2$
 $10 \times \square = 200$
 $\square = 200 \div 10$
 $\square = 20$



答え 20m

- ③ 横200m、面積16haの長方形のたての長さを□mとします。
□を使った式に表し、答えを求めましょう。

〈式〉 $16ha = 160000m^2$
 $\square \times 200 = 160000$
 $\square = 160000 \div 200$
 $\square = 800$



答え 800m

ねらい 複合図形の面積の求め方を、図や式、言葉などを使って説明する。 ⑫ 技 知

- ① 下のよう^{めんせき}な形の面積を考え方①、②のよう^{もと}に求めました。
□にあてはまる数を書きましょう。

＜考え方①＞

たてに切って2つの長方形と、1つの正方形に分けて計算する。

アとウの長方形はどちらも、

たて cm、横 cmの長方形だから、

面積は、

$$\boxed{30} \times \boxed{10} \times 2 = \boxed{600} \dots\dots(1)$$

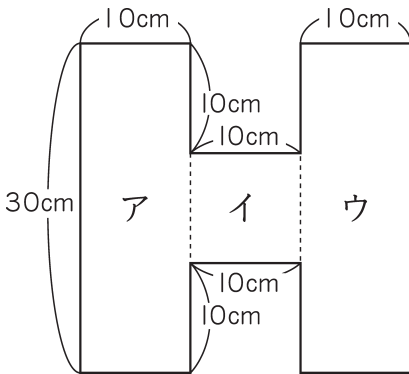
イの正方形は1^{いっぺん}辺が cmだから、

$$\boxed{10} \times \boxed{10} = \boxed{100} \dots\dots(2)$$

(1)と(2)をあわせて、全体の面積を求めるので、

$$\boxed{600} + \boxed{100} = \boxed{700}$$

答え 700cm²



＜考え方②＞

1辺が30cmの正方形から、アとイの正方形をひく。

1辺が30cmの正方形の面積は、

$$\boxed{30} \times \boxed{30} = \boxed{900}$$

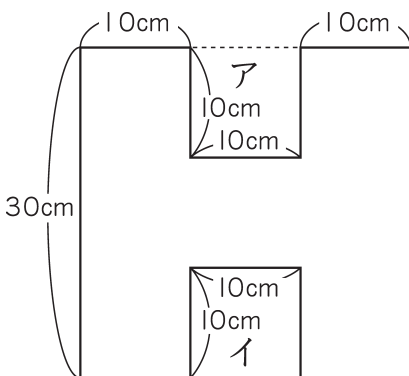
1辺が10cmの正方形のア、イの面積は、

$$\boxed{10} \times \boxed{10} \times 2 = \boxed{200}$$

1辺が30cmの正方形から1辺が10cmの正方形の2つ分をひいた面積は、

$$\boxed{900} - \boxed{200} = \boxed{700}$$

答え 700cm²



9. 整理のしかた ①

名前

組 番

ねらい

資料を分類整理するための観点を決めたり、表の表し方を工夫したりする。

④ 技 知

① 左下のけが調べを、けがの種類の表と、けがをした場所の表に整理しましょう。

〈けが調べ〉

学年	けが	場所
3	ねんざ	校庭
2	すりきず	校庭
6	ねんざ	体育館
5	すりきず	校庭
4	打ぼく	ろうか
1	すりきず	校庭
4	すりきず	教室
6	すりきず	校庭
3	すりきず	校庭
2	切りきず	教室
4	すりきず	校庭
3	すりきず	教室
5	ねんざ	体育館
1	すりきず	校庭
4	ねんざ	校庭
6	打ぼく	体育館
2	打ぼく	教室
5	すりきず	校庭
4	すりきず	校庭
3	切りきず	教室

〈けがの種類〉

けがの種類	人数 (人)
すりきず	正 正 一 11
打ぼく	下 3
切りきず	下 2
ねんざ	正 下 4
合計	20

〈けがをした場所〉

場所	人数 (人)
教室	正 5
校庭	正 正 一 11
体育館	下 3
ろうか	一 1
合計	20

② 上の〈けがの種類〉と〈けがをした場所〉の表を見て、次の問いに答えましょう。

- ① いちばん多いけがの種類は何でしょうか。 (すりきず)
- ② いちばん少ないけがの種類は何でしょうか。 (切りきず)
- ③ けががいちばん多い場所はどこでしょうか。 (校庭)

9. 整理のしかた ②

名前

組 番

ねらい 資料を2次元表に表したり、読んだりすることができる。

考(技)知

① 左下の〈けが調べ〉のしりょうを、下のような表に整理しています。
下の問題に答えましょう。

〈けが調べ〉

学年	けが	場所
3	ねんざ	校庭
2	すりきず	校庭
6	ねんざ	体育館
5	すりきず	校庭
4	打ぼく	ろうか
1	すりきず	校庭
4	すりきず	教室
6	すりきず	校庭
3	すりきず	校庭
2	切りきず	教室
4	すりきず	校庭
3	すりきず	教室
5	ねんざ	体育館
1	すりきず	校庭
4	ねんざ	校庭
6	打ぼく	体育館
2	打ぼく	教室
5	すりきず	校庭
4	すりきず	校庭
3	切りきず	教室

〈けが調べ〉

(人)

種類 けがの種類	校庭	教室	体育館	ろうか	合計
ねんざ	┌ 2	┌ 0	┌ 2	┌ 0	4
すりきず	正 9	┌ 2	┌ 0	┌ 0	[11]
打ぼく	┌ 0	┌ 1	┌ 1	┌ 1	3
切りきず	┌ 0	┌ 2	┌ 0	┌ 0	[2]
合計	11	[5]	[3]	1	[20]

- けがをした場所は、校庭、教室、ろうかのほかには、どこでしょうか。表の□に書きましょう。
- けがの種類は、ねんざ、すりきず、切りきずのほかに、何があるでしょうか。表の□に書きましょう。
- 表の〔 〕に、しりょうを調べて、あてはまる人数を書きましょう。

④ 〈けがの種類とけがをした学年〉を、1つの表に整理しましょう。

〈けがの種類と学年〉

(人)

種類 けがの種類	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
すりきず	┌ 2	┌ 1	┌ 2	┌ 3	┌ 2	┌ 1	11
打ぼく	┌ 0	┌ 1	┌ 0	┌ 1	┌ 0	┌ 1	3
切りきず	┌ 0	┌ 1	┌ 1	┌ 0	┌ 0	┌ 0	2
ねんざ	┌ 0	┌ 0	┌ 1	┌ 1	┌ 1	┌ 1	4
合計	2	3	4	5	3	3	20

70

9. 整理のしかた ③

名前

組 番

ねらい 起こりうる場合を分類し、2次元表に表すことができる。

考(技)知

① 下のようないろいろのおにぎりがあつてあります。これをわかりやすく整理しましょう。

かたち ————— のり

三角 丸 ついている ついていない

① □にあてはまる数を書きましょう。

- ・三角のおにぎり..... 17 こ
- ・丸のおにぎり..... 13 こ
- ・のりがついて..... 20 こ
いるおにぎり
- ・のりがついて..... 10 こ
いないおにぎり

② □にあてはまる数を書きましょう。

- ・三角でのりの..... 10 こ
ついているおにぎり
- ・三角でのりの..... 7 こ
ついていないおにぎり
- ・丸でのりの..... 10 こ
ついているおにぎり
- ・丸でのりの..... 3 こ
ついていないおにぎり

③ おにぎりの種類を右の表に整理しましょう。

<おにぎりの種類> (こ)

		のり		合計
		ついている	ついていない	
かたち	三角	10	7	17
	丸	10	3	13
合計		20	10	30

71

9. 整理のしかた ④

名前

組 番

ねらい

起こりうる場合を分類し、2次元表にまとめ、特徴を調べて考える。

④ 技知

- ① たろうくんの組で、土曜日と日曜日に公園で遊んだかどうかを調べました。○は遊んだこと、×は遊んでいないことを表しています。

〈土曜日と日曜日の公園での遊び調べ〉

出席番号	土曜日	日曜日	出席番号	土曜日	日曜日
1	×	○	11	×	○
2	○	×	12	×	×
3	○	×	13	○	×
4	×	○	14	○	○
5	○	○	15	×	×
6	×	×	16	×	○
7	×	×	17	○	×
8	×	○	18	×	○
9	○	×	19	○	○
10	○	○	20	○	○

- ① たろうくんの組の土曜日と日曜日の様子を、下の表に整理しましょう。

〈土曜日と日曜日の公園での遊び調べ〉 (人)

		日 曜 日		合 計
		遊んだ	遊んでいない	
土曜日	遊んだ	(^あ 5)	(5)	(^い 10)
	遊んでいない	(6)	(^う 4)	(10)
合 計		(^え 11)	(9)	(^お 20)

- ② 上の表の①～⑥に入る数は、それぞれ何を表しているでしょうか。

- ① (土曜日と日曜日も公園で遊んだ人の数)
- ② (土曜日に公園で遊んだ人の数)
- ③ (土曜日と日曜日も公園で遊んでいない人の数)
- ④ (日曜日に公園で遊んだ人の数)
- ⑤ (土曜日と日曜日に公園で遊んだかどうか調べた人の数)

72

10. 角 ①

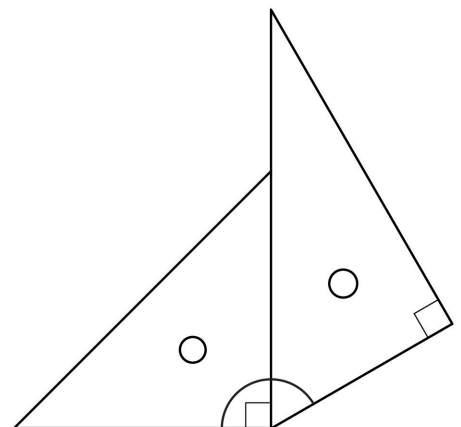
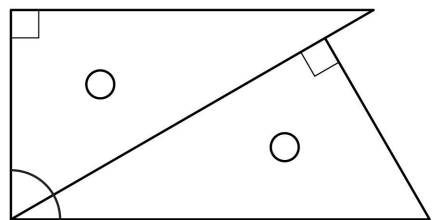
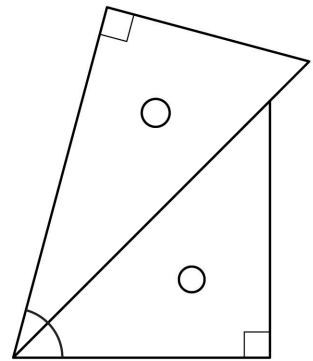
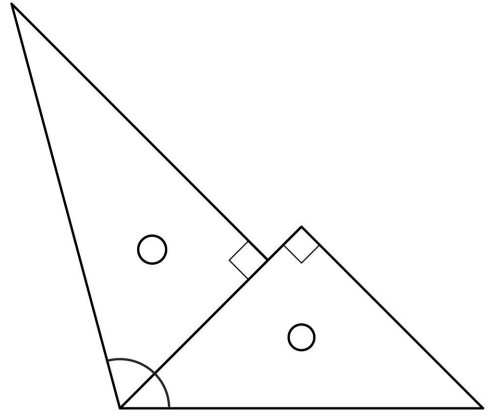
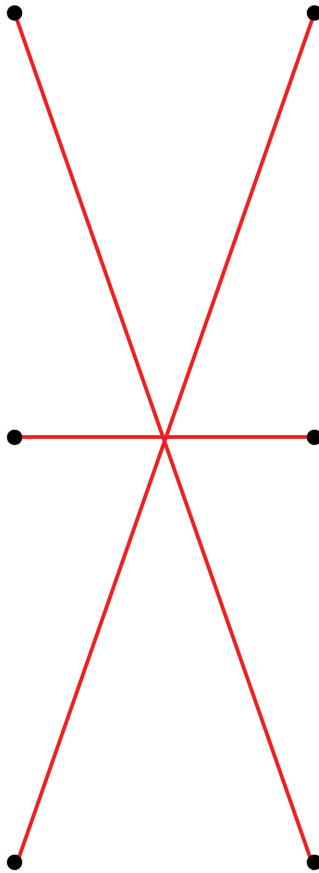
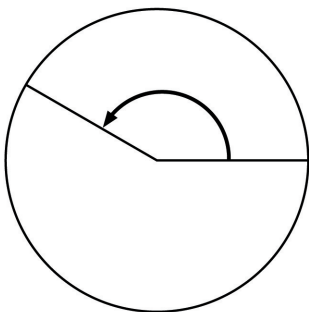
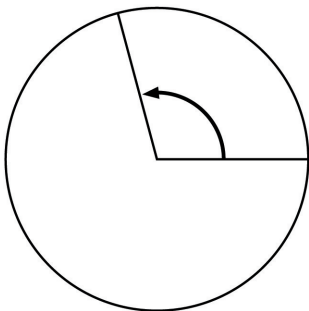
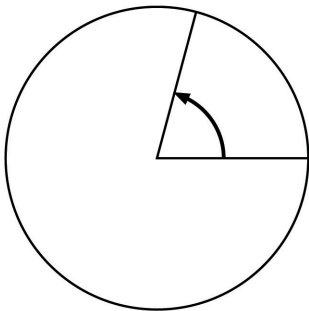
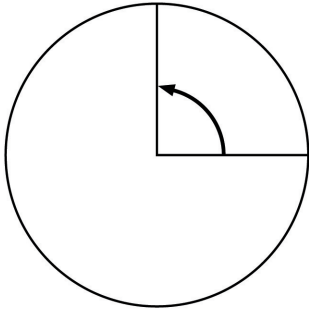
名前

組 番

ねらい 回転した量としての角の大きさの意味を理解する。

考技 (知)

角の大きさを三角定規を使って調べ、角の大きさが等しいものを線で結びましょう。



73

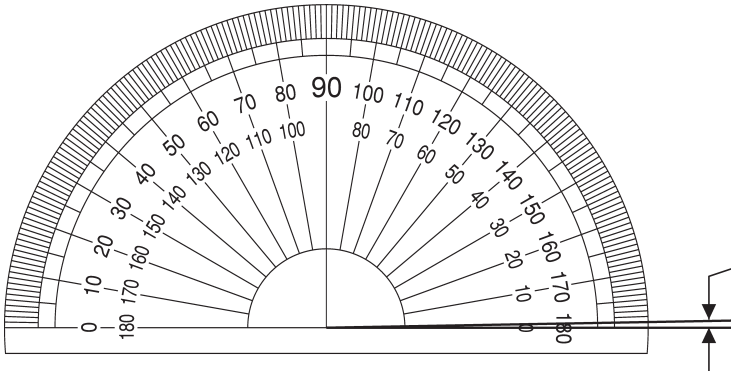
10. 角 ㉔

名前

組 番

ねらい 分度器の機能と使い方、角の大きさの単位「度(°)」を理解する。 考(技)(知)

1 次の□にあてはまる数や単位を、()にはあてはまる言葉や記号を書きましょう。



① 角の大きさのことを (**角度**)
ともいいます。

② 直角を90に等分した1こぶんを

1度 といい、
1° と書きます。

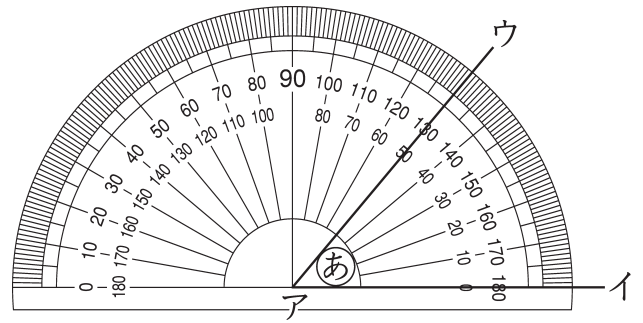
2 角㉕の角度のはかり方

① 分度器の中心を頂点 (**ア**) にあわせる。

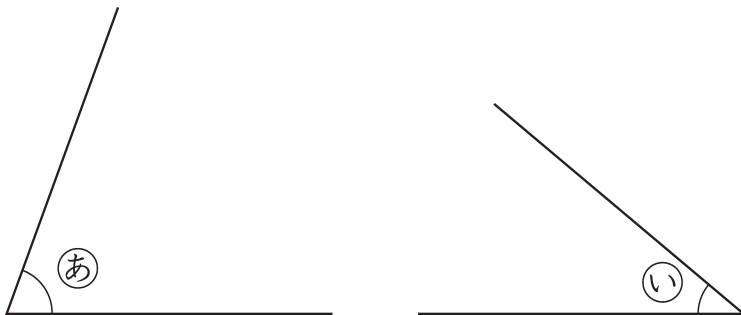
② 分度器の0°の線を辺 (**アイ**) に重ねる。

③ 辺 (**アウ**) と重なっている目もりをよむ。

㉕の角の大きさは **50°** です。



3 下の角の大きさをはかりましょう。



- あ **70°**
- い **40°**
- う **150°**
- え **120°**



74

10. 角 ③

名前

組 番

ねらい

直角を単位とした角の表し方が分かり、三角定規でいろいろな大きさの角を作り、加減計算ができる。

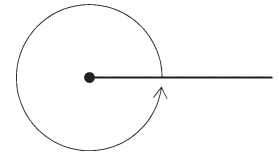
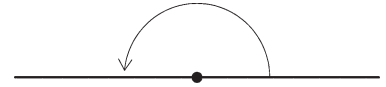
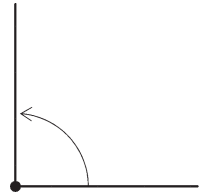
考(技)(知)

① 回転と角度の関係を調べましょう。
□にあてはまる角度を書きましょう。

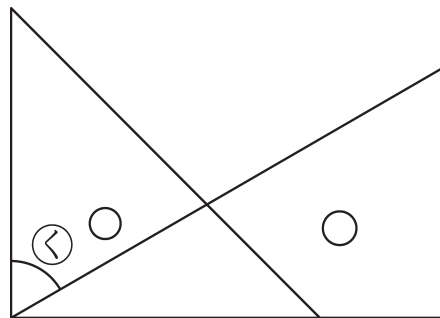
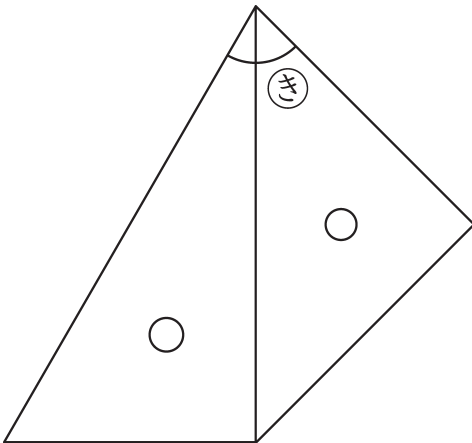
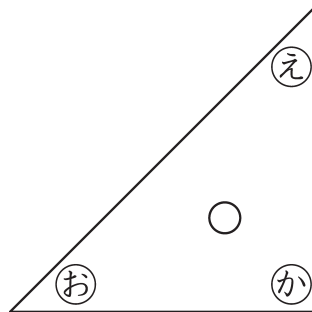
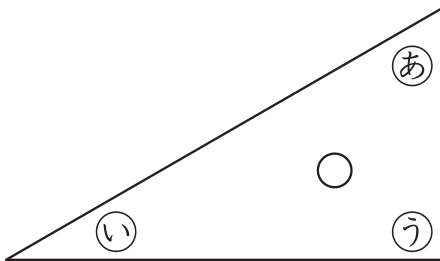
① 1 直角は 90°

② 半回転の角度…… 2 直角 = 180°

③ 1 回転の角度…… 4 直角 = 360°



② 三角定規の角の大きさは、それぞれ何度でしょうか。



- あ 60°
- い 30°
- う 90°
- え 45°
- お 45°
- か 90°
- き 75°
- く 60°

75

10. 角 ④

名前

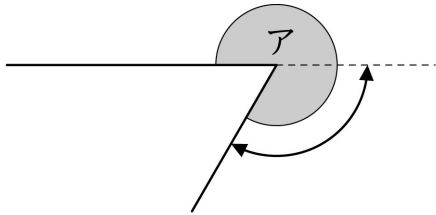
組 番

ねらい 180°より大きい角の大きさの測定の仕方を考える。

④ 技 知

① □にあてはまる角度や数を書いて、180°より大きい角の大きさのはかり方を説明し、角度をはかりましょう。

①



①

180°

と、あと何度あるかを調べる。

矢印の部分の角度は

120°

アの角度を計算して求める。

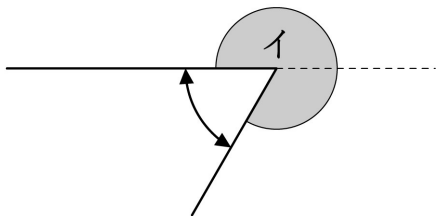
<式>

$$180 + 120 = 300$$

答え

300°

②



②

360°

より何度小さいかを調べる。

矢印の部分の角度は

60°

イの角度を計算して求める。

<式>

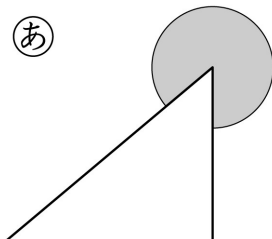
$$360 - 60 = 300$$

答え

300°

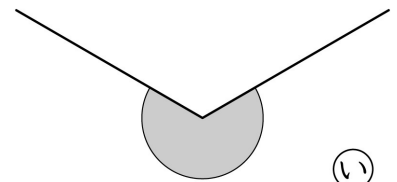
② 必要などころの角度をはかり、計算してあといの角度を求めましょう。

あ



あ

310°



い

240°

76

10. 角 ⑤

名前

組 番

ねらい 分度器を用いて角を作図することができる。

考(技)知

① 30°の角のかき方を説明します。

□にあてはまる数や単位を、()にはあてはまる記号や言葉を書きましょう。

① 1つの^{へん}辺アイをかく。

② 分度器の(**中心**)を

点アをあわせる。

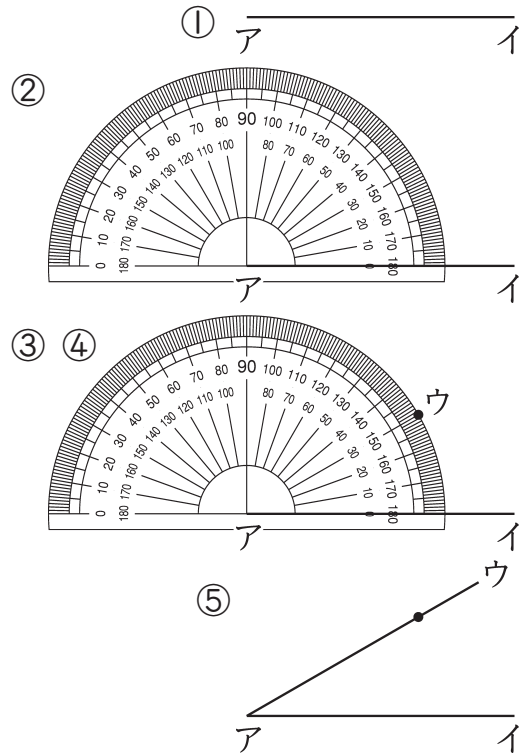
③ 分度器の0°の辺を(**アイ**)に

あわせる。

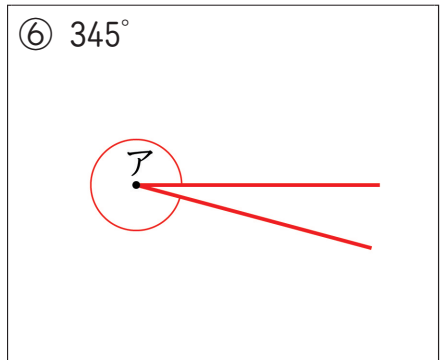
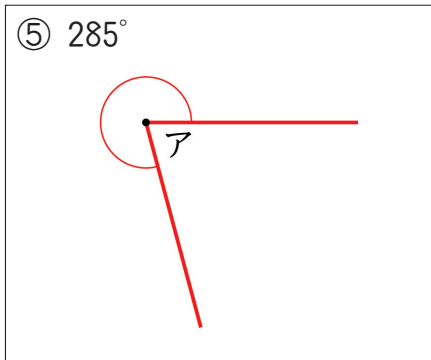
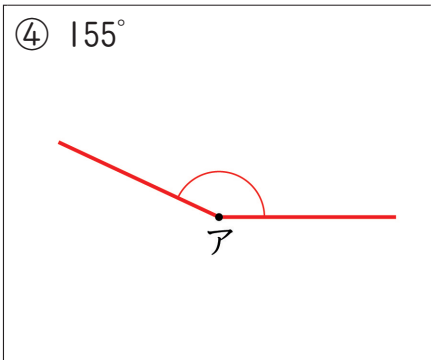
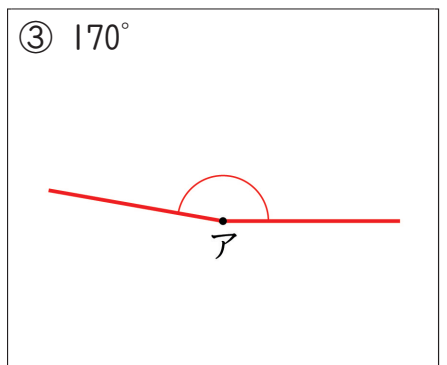
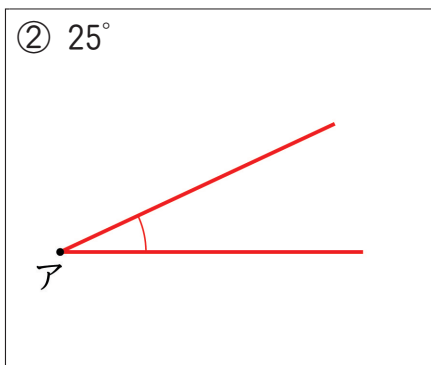
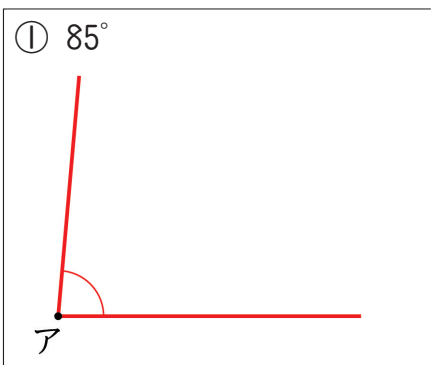
④ **30°** を表す目もりのところに

点ウをうつ。

⑤ 点アと点(**ウ**)を通る直線をかく。



② 点アが角の頂点になるように、次の角度をかきましょう。



77

10. 角 ⑥

名前

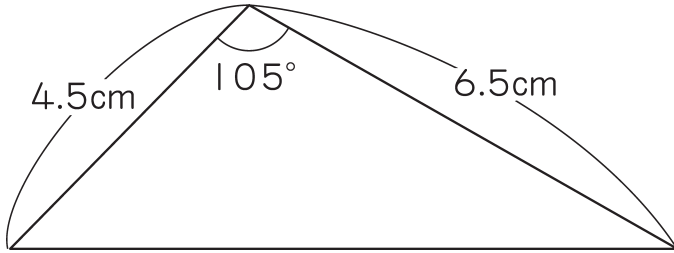
組 番

ねらい 分度器を用いて三角形を作図することができる。

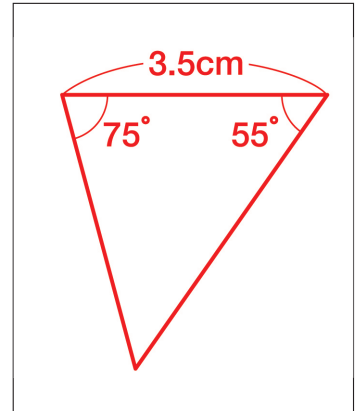
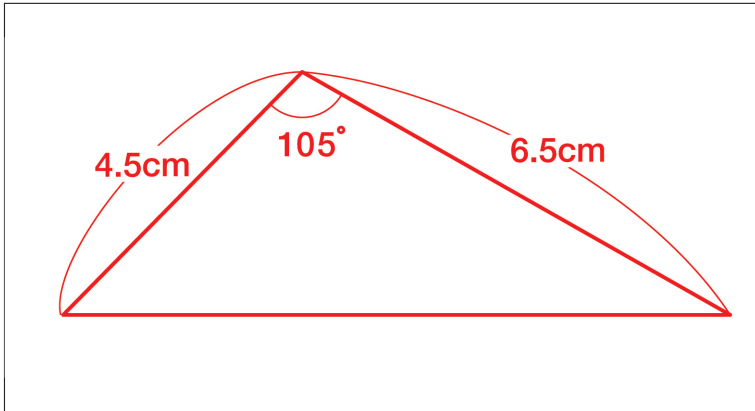
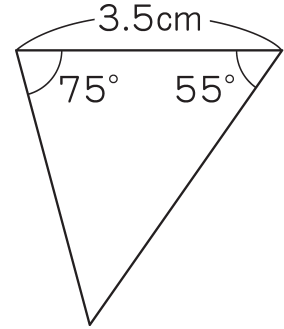
考(技)知

1 次のような三角形をかきましょう。

①



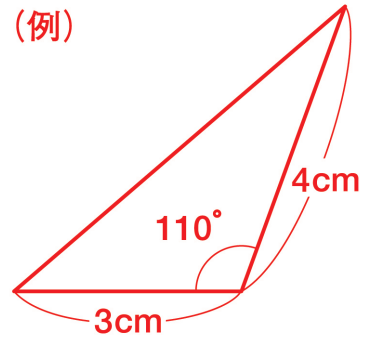
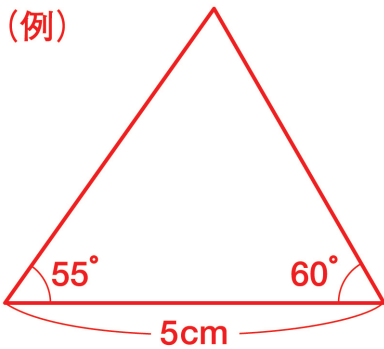
②



2 辺の長さや角度が次のような三角形をかきましょう。

① 5 cm、55°、60°

② 3 cm、4 cm、110°



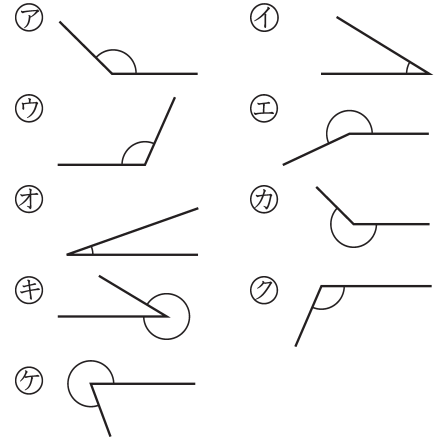
名前

組 番

ねらい 角の大きさの感覚を豊かにすることができる。

⑧ 技 知

① 分度器を使わずに、①～④にあてはまる角度をア～ケから選び、記号で答えましょう。



① 90°より小さい角度 (イ、オ)

② 90°より大きく、180°より小さい角度 (ア、ウ、ク)

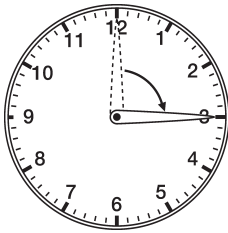
③ 180°より大きく、270°より小さい角度 (エ、カ)

④ 270°より大きく、360°より小さい角度 (キ、ケ)

② 時計の長いはり（分針）は、次の時間では何度回るでしょうか。

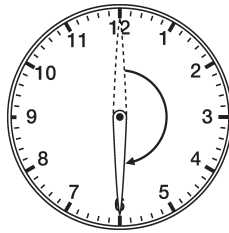
□に角度を書きましょう。

① 15分



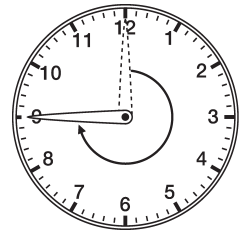
90°

② 30分



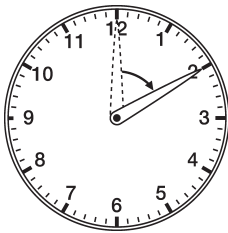
180°

③ 45分



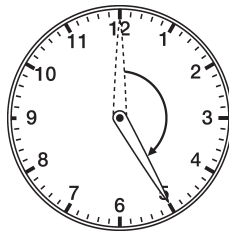
270°

④ 10分



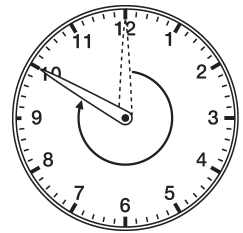
60°

⑤ 25分



150°

⑥ 50分



300°

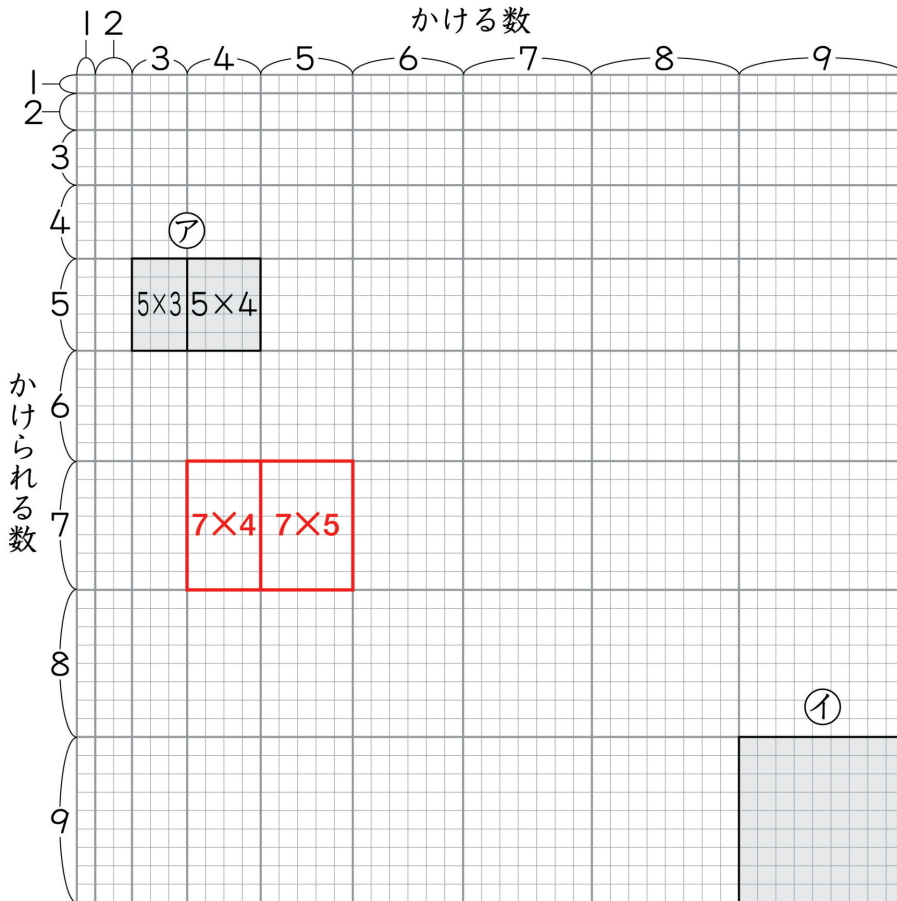
79

☆ 方眼で九九を考えよう

名前

組 番

ねらい 乗法の式と面積を結び付けて捉えたり、分配法則について理解を深める。 考(技)(知)



① 左の図は、九九の答えほうがんを方眼のます目で表したものです。

① 左の図を使って、アのように、次の式を図にかきましょう。

$$\cdot 7 \times 4 + 7 \times 5$$

② 左の図のイは、どんな九九を表しているでしょうか。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\boxed{9} \times \boxed{9}$$

③ 上の図を使って、 7×4 の答えと 7×5 の答えをあわせると、 7×9 の答えと同じになることを説明しましょう。

7×4 はたて7ます、横4ます、 7×5 はたて7ます、横5ますあります。これを合わせると、たて7ます、横9ますになるから、 7×9 になる。

④ 九九の答えを全部たすと、いくつになるでしょうか。説明しましょう。

かけられる数のますは45、かける数のますも45あるので、九九の答えは全部で $45 \times 45 = 2025$ となり、全部で2025になる。

80

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ①

名前

組 番

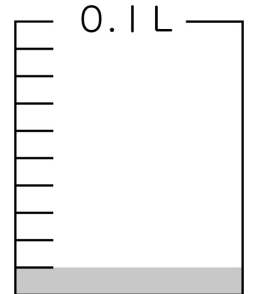
ねらい 1/100の位までの小数の表し方、数の構成を理解する。

考技(知)

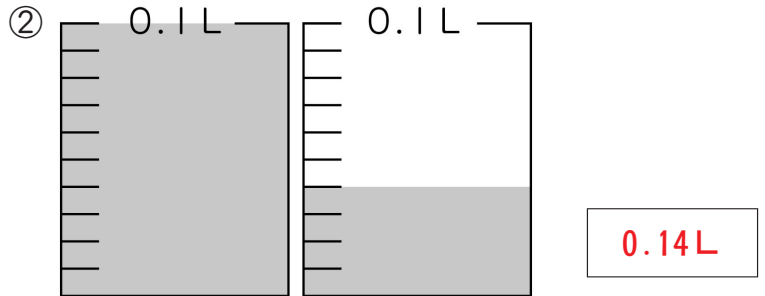
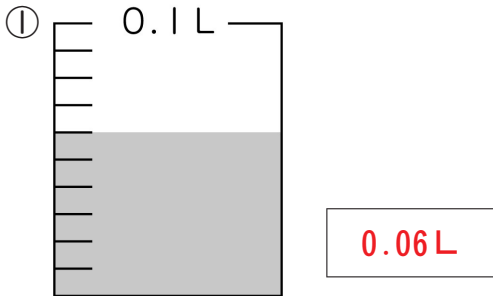
① □にあてはまる数を、()にはあてはまる言葉を書きましょう。

① 0.1Lの $\frac{1}{10}$ を **0.01L** と書き、

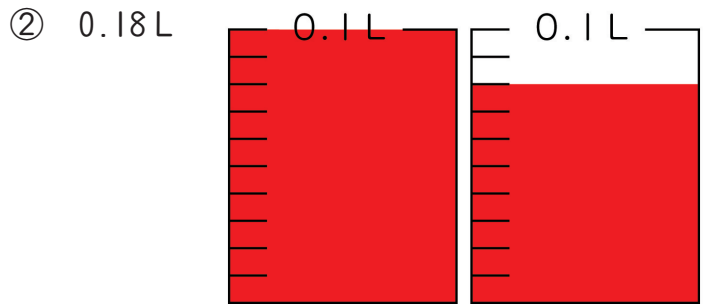
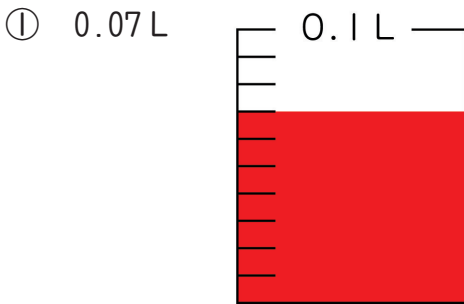
(**れい点れい1リットル**)とよみます。



② 次のかさは、何Lでしょうか。



③ 水のかさだけ、色をぬりましょう。



④ □にあてはまる数を書きましょう。

① 1Lを23こと、0.1Lを8こと、0.01Lを6こあわせたかさ **23.86L**

② 0.1Lを76こと、0.01Lを5こあわせたかさ **7.65L**

⑤ □にあてはまる数を書きましょう。

① 0.036kgは、0.01kgの **3** 分と、0.001kgの **6** 分です。

② 3.745kgは、1kgが **3** こと、0.1kgが **7** こと、0.01kgが **4** こと、

0.001kgが **5** こあわせた重さです。

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ②

名前

組 番

ねらい 1/1000の位までの小数の表し方、数の構成を理解する。

考技(知)

① □にあてはまる数を書きましょう。

$1 \text{ kg} = \boxed{1000} \text{ g}$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $0.1 \text{ kg} = \boxed{100} \text{ g}$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $0.01 \text{ kg} = \boxed{10} \text{ g}$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $0.001 \text{ kg} = \boxed{1} \text{ g}$	$1000 \text{ m} = \boxed{1} \text{ km}$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $100 \text{ m} = \boxed{0.1} \text{ km}$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $10 \text{ m} = \boxed{0.01} \text{ km}$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $1 \text{ m} = \boxed{0.001} \text{ km}$	$1 \text{ m}^2 = \boxed{10000} \text{ cm}^2$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $0.1 \text{ m}^2 = \boxed{1000} \text{ cm}^2$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $0.01 \text{ m}^2 = \boxed{100} \text{ cm}^2$ $\downarrow \frac{1}{10}$ $0.001 \text{ m}^2 = \boxed{10} \text{ cm}^2$
--	--	--

② 次の量を、小数を用いて表しましょう。

- ① $2570 \text{ g} = (\quad \mathbf{2.57} \quad) \text{ kg}$ ② $346 \text{ g} = (\quad \mathbf{0.346} \quad) \text{ kg}$
 ③ $4627 \text{ m} = (\quad \mathbf{4.627} \quad) \text{ km}$ ④ $2060 \text{ m} = (\quad \mathbf{2.06} \quad) \text{ km}$
 ⑤ $2570 \text{ mL} = (\quad \mathbf{2.57} \quad) \text{ L}$

③ 小数を用いて表された量を、整数で表しましょう。

- ① $1.03 \text{ km} = (\quad \mathbf{1030} \quad) \text{ m}$ ② $30.5 \text{ kg} = (\quad \mathbf{30500} \quad) \text{ g}$
 ③ $1.3 \text{ L} = (\quad \mathbf{1300} \quad) \text{ mL}$

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ③

名前

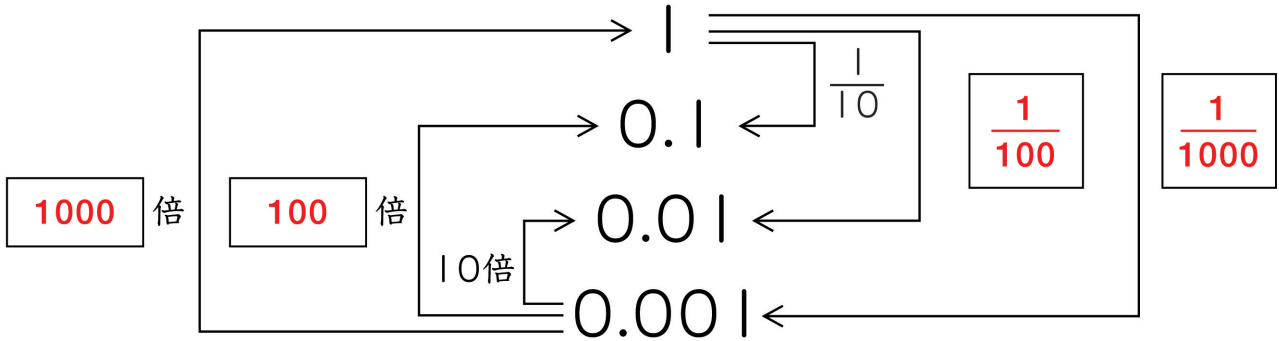
組 番

ねらい

1、0.1、0.01の関係を調べ、小数が整数と同じしくみになっていることを理解する。

考技(知)

① □にあてはまる数を書きましょう。



② □にあてはまる数を書きましょう。

- ① 0.01は 0.1 を $\frac{1}{10}$ にした数で、0.001 を10倍した数です。
- ② 1を $\frac{1}{1000}$ にした数は 0.001 で、 $\frac{1}{10}$ にした数は 0.1 です。
- ③ 0.001を10倍にした数は 0.01 で、100倍にした数は 0.1 です。
- ④ 0.01 を100倍にした数は1で、0.1 を $\frac{1}{100}$ にした数は、0.001です。

③ 次の問いに答えましょう。

- ① 0.8を10倍した数と、100倍した数を書きましょう。
10倍した数 (8) 100倍した数 (80)
- ② 0.7を $\frac{1}{10}$ した数と、 $\frac{1}{100}$ した数を書きましょう。
 $\frac{1}{10}$ した数 (0.07) $\frac{1}{100}$ した数 (0.007)
- ③ 0.05の $\frac{1}{10}$ した数と、 $\frac{1}{100}$ した数を書きましょう。
 $\frac{1}{10}$ した数 (0.005) $\frac{1}{100}$ した数 (0.0005)

83

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ④

名前

組 番

ねらい

十進位取り記数法をもとに、小数の位取りを理解する。

考技 知

① () にあてはまる言葉を書きましょう。

アの「.」を (**小数点**) といい、その右の

イの位は ($\frac{1}{10}$ の位) または (**小数第一位**) といいます。

ウの位は ($\frac{1}{100}$ の位) または (**小数第二位**) といいます。

エの位は ($\frac{1}{1000}$ の位) または (**小数第三位**) といいます。

	ア			
	2	3	1	9
一の位	イ	ウ	エ	

② □ にあてはまる数を書きましょう。

① 6.084の $\frac{1}{1000}$ の位の数字は で、8は の位の数字です。

② 5.365の一の位が表す5は、小数第三位の位が表す5の 倍です。

③ 次の数を□に書きましょう。

① 一の位の数字が2、 $\frac{1}{10}$ の位の数字が5、
 $\frac{1}{100}$ の位の数字が7、 $\frac{1}{1000}$ の位の数字が4の数。

② 一の位の数字が3、小数第一位の数字が7、
小数第二位の数字が6、小数第三位の数字が4の数。

84

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ⑤

名前

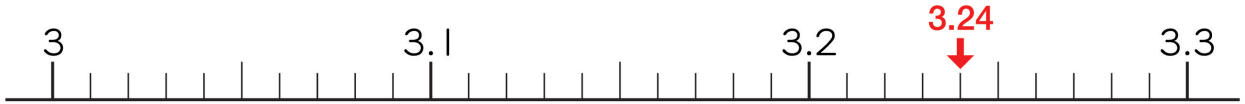
組 番

ねらい

小数の相対的な大きさや大小比較の仕方を考える。

⑤ 技知

① 下の数直線を見て答えましょう。□の中にあてはまる数を書きましょう。



① 3.24にあたる場所は、どこでしょうか。↓を書き入れましょう。

② 3.24の3、0.2、0.04は、それぞれ0.01を何こあつめた数でしょうか。

3は、0.01を こあつめた数

0.2は、0.01を こあつめた数

0.04は、0.01を こあつめた数

3.24は、0.01を こあつめた数

② 次の数を書きましょう。

① 0.01を70こあつめた数は、いくつでしょうか。

② 0.53は0.01を、何こあつめた数でしょうか。

こ

③ 0.863は0.001を、何こあつめた数でしょうか。

こ

④ 2.34は0.01を、何こあつめた数でしょうか。

こ

⑤ 0.001を1347こあつめた数は、いくつでしょうか。

③ () の中の数を、小さい順にならべましょう。

① (0.05 0 0.3 1.1 0.009)

< < < <

② (7.3 0 6.4 6.098 0.003)

< < < <

85

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ⑥

名前

組 番

ねらい 10倍、1/10にした大きさの表し方を理解する。

考技 ⑧

① 4.75の10倍の数と $\frac{1}{10}$ の数を書きましょう。

十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位	
4	7	5			← 10倍
	4	7	5		
	0	4	7	5	← $\frac{1}{10}$

② 次の数を書きましょう。

① 5.48を10倍した数

54.8

② 8.029を100倍した数

802.9

③ 7.4を $\frac{1}{10}$ にした数

0.74

④ 43.6を $\frac{1}{100}$ にした数

0.436

⑤ 3.4を $\frac{1}{100}$ にした数

0.034

③ □にあてはまる数を書きましょう。

① 2.85を10倍した数は です。

② を10倍した数は、72.9です。

③ を $\frac{1}{10}$ にした数は、5.68です。

86

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ⑦

名前

組 番

ねらい 小数の加減計算が筆算でできる。

考(技)知

① 5.341+0.669の計算のしかたを説明します。□にあてはまる数を書きましょう。

<0.001をもとにして>

5.341は0.001が こ、0.669は0.001が こあつまった数

だから、5.341+0.669は0.001が (+) こになる。

そこで、5.341+0.669=

<位ごとに考えて>

5.341は、 5 と と と

0.669は、 0 と と と

あわせて、 と と と になるから、

答えは

② 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad 2.34 \\ + 1.37 \\ \hline 3.71 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \quad 3.06 \\ + 2.95 \\ \hline 6.01 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \quad 30.14 \\ + 7.76 \\ \hline 37.90 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \quad 4.84 \\ + 5.36 \\ \hline 10.20 \end{array}$$

⑤ 8.902+14.567 = 23.469

⑥ 34.282+45.738 = 80.02

87

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ⑧

名前

組 番

ねらい

和の末位が0になる場合や、位取りの異なる小数の加法計算ができる。

考(技)知

① 計算をしましょう。

① $4.51 + 5.29$

$= 9.8$

② $4.32 + 6.38$

$= 10.7$

③ $2.37 + 4.63$

$= 7$

④ $3.58 + 5.42$

$= 9$

⑤ $0.241 + 0.769$

$= 1.01$

⑥ $0.363 + 0.677$

$= 1.04$

⑦ $0.4 + 0.76$

$= 1.16$

⑧ $0.38 + 0.2$

$= 0.58$

⑨ $8 + 2.45$

$= 10.45$

⑩ $6.32 + 4$

$= 10.32$

⑪ $12.06 + 0.087$

$= 12.147$

⑫ $0.076 + 14.08$

$= 14.156$

88

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ㊟

名前

組 番

ねらい 小数の減法計算が筆算でできる。

考(技)知

① 8.573-3.462の計算のしかたを説明します。□にあてはまる数を書きましょう。

<0.001をもとにして>

8.573は0.001が こ、3.462は0.001が こあつまった数

だから、8.573-3.462は0.001が (-) こになる。

そこで、8.573-3.462=

^{くらい}
<位ごとに考えて>

8.573は、 8 と と と

3.462は、 3 と と と

ひくと、 と と と になるから、

答えは

② 次の計算をしましょう。

① $9.86 - 6.35 = 3.51$

② $8.47 - 3.84 = 4.63$

③ $8.724 - 1.368 = 7.356$

④ $3.28 - 0.24 = 3.04$

⑤ $7.46 - 3.88 = 3.58$

⑥ $2.435 - 1.968 = 0.467$



89

11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ⑩

名前

組 番

ねらい

位取りの異なる小数の減法計算、整数と小数の減法計算ができる。 考(技)知

① 筆算をしましょう。

① $7.2 - 3.85$

$$\begin{array}{r} 7.2 \\ - 3.85 \\ \hline 3.35 \end{array}$$

② $0.9 - 0.46$

$$\begin{array}{r} 0.9 \\ - 0.46 \\ \hline 0.44 \end{array}$$

③ $10.3 - 8.76$

$$\begin{array}{r} 10.3 \\ - 8.76 \\ \hline 1.54 \end{array}$$

④ $0.7 - 0.64$

$$\begin{array}{r} 0.7 \\ - 0.64 \\ \hline 0.06 \end{array}$$

⑤ $10.4 - 0.984$

$$\begin{array}{r} 10.4 \\ - 0.984 \\ \hline 9.416 \end{array}$$

⑥ $1.91 - 0.924$

$$\begin{array}{r} 1.91 \\ - 0.924 \\ \hline 0.986 \end{array}$$

⑦ $2 - 1.25$

$$\begin{array}{r} 2 \\ - 1.25 \\ \hline 0.75 \end{array}$$

⑧ $4 - 2.98$

$$\begin{array}{r} 4 \\ - 2.98 \\ \hline 1.02 \end{array}$$

⑨ $8 - 7.605$

$$\begin{array}{r} 8 \\ - 7.605 \\ \hline 0.395 \end{array}$$

⑩ $9 - 4.36$

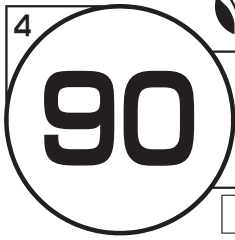
$$\begin{array}{r} 9 \\ - 4.36 \\ \hline 4.64 \end{array}$$

⑪ $3 - 2.94$

$$\begin{array}{r} 3 \\ - 2.94 \\ \hline 0.06 \end{array}$$

⑫ $6 - 5.795$

$$\begin{array}{r} 6 \\ - 5.795 \\ \hline 0.205 \end{array}$$



11. 小数のしくみと
たし算、ひき算 ⑪

名前

組 番

ねらい 加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを理解する。 考技 ⑩

① □にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 0.96 + 2.38 = \boxed{2.38} + 0.96$$

$$\textcircled{2} \quad 8.14 + 0.298 = 0.298 + \boxed{8.14}$$

$$\textcircled{3} \quad 11.003 + \boxed{9.97} = 9.97 + \boxed{11.003}$$

$$\textcircled{4} \quad \boxed{29.46} + 0.538 = \boxed{0.538} + 29.46$$

$$\textcircled{5} \quad 100.63 + \boxed{38.07} + 9.032 = \boxed{9.032} + 100.63 + 38.07$$

② くふうして計算しましょう。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad 3.901 + 1.714 + 0.099 &= \boxed{3.901} + \boxed{0.099} + 1.714 \\ &= \boxed{4} + 1.714 \\ &= \boxed{5.714} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad 12.798 + 21.543 + 8.457 &= \boxed{12.798} + (\boxed{21.543} + \boxed{8.457}) \\ &= \boxed{12.798} + \boxed{30} \\ &= \boxed{42.798} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{3} \quad 45.625 + 4.218 + 4.375 &= \boxed{45.625} + \boxed{4.375} + 4.218 \\ &= \boxed{50} + \boxed{4.218} \\ &= \boxed{54.218} \end{aligned}$$

12. 垂直、平行と四角形 ①

名前

組 番

ねらい 垂直の意味を理解する。

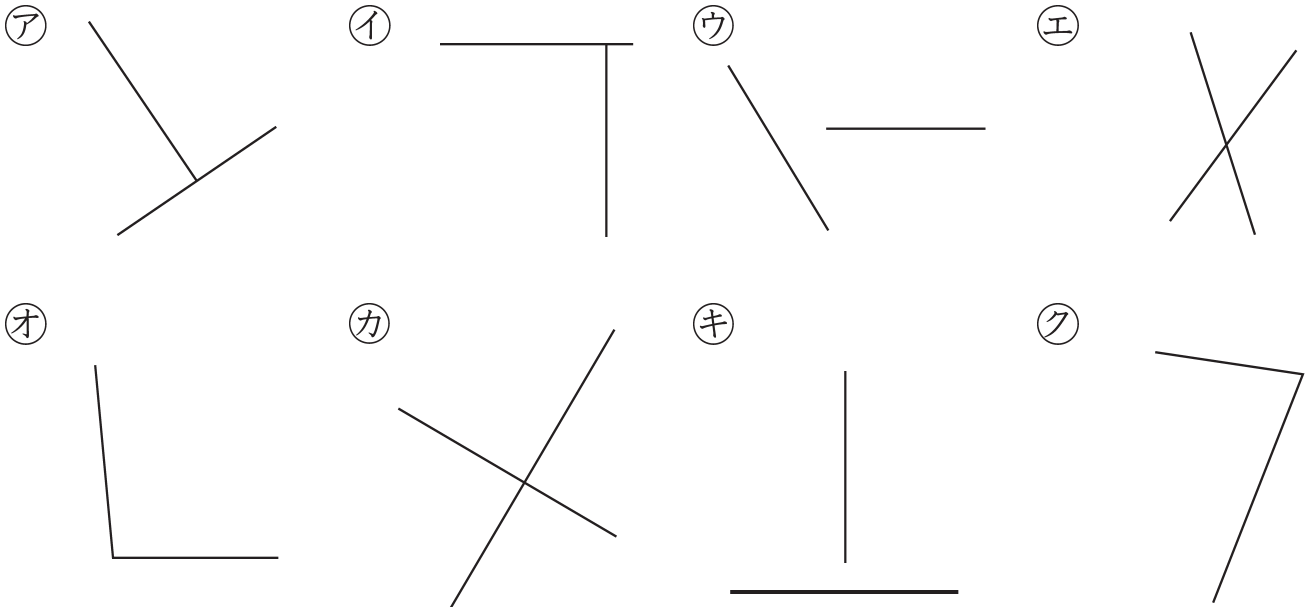
考技 (知)

① () にあてはまる言葉を書きましょう。

2本の直線が交わって直角ができるとき、この2本の直線は、

(**垂直**) であるといいます。

② 下の図で垂直な直線の組はどれでしょうか。記号で書きましょう。

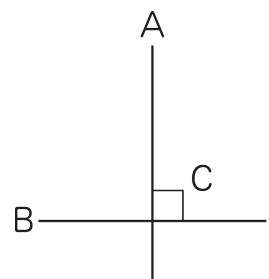


(**ア、イ、カ、キ**)

③ 次の文章は下の図の説明ですが、まちがいがあります。まちがいを=で消して、その下に正しい言葉を書きましょう。

・直線Aと直線Bは~~直角~~です。
垂直

・角Cは~~垂直~~です。
直角



12. 垂直、平行と四角形 ②

名前

組 番

ねらい 平行の意味、性質を理解する。

考技 ⑨

① () にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

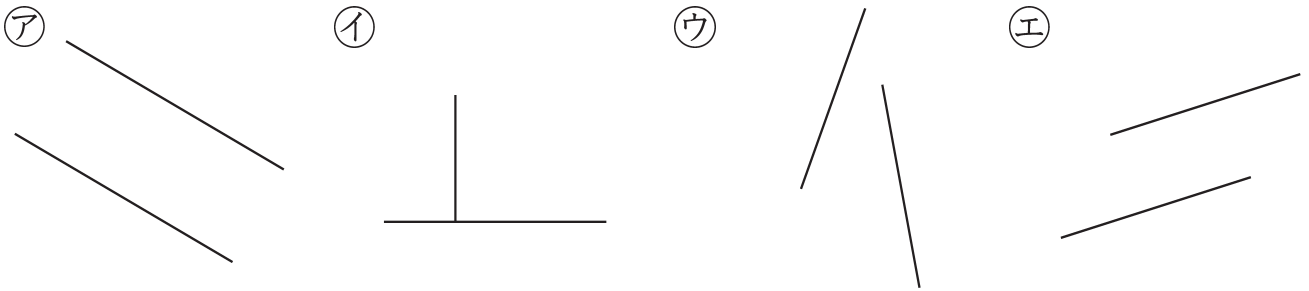
1本の直線に垂直な2本の直線は、(平行) であるといいます。

〈平行な直線のせいしつ(1)〉

平行な 2 本の (直線) の (はば) は、どれも等しくなっています。

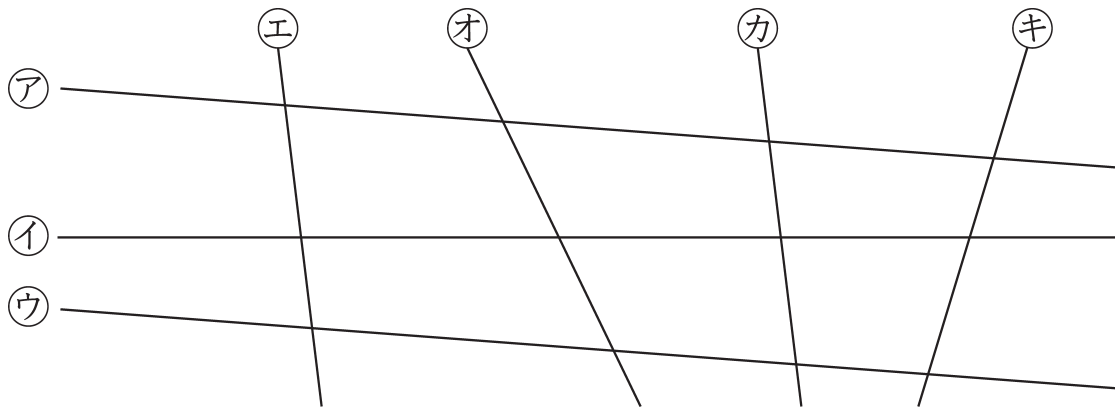
平行な (直線) は、どこまでのばしても (交わりません) 。

② 下の図で、平行な直線の組はどれでしょうか。記号で書きましょう。



(ア、エ)

③ 下の図で、平行な直線はどれとどれでしょうか。



(アとウ、エとカ)

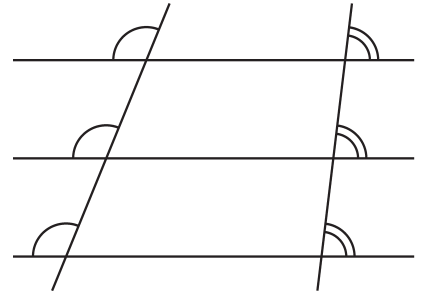
ねらい 平行の性質を理解する。

考技 ⑨

① () にあてはまる言葉を書きましょう。

〈平行な直線のせいしつ(2)〉

平行な直線は、ほかの(**直線**)と
(**等しい**)角度で交わります。

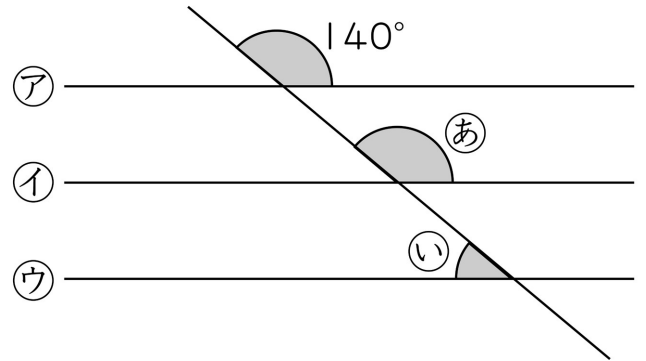


② 直線ア、イ、ウは平行です。

あ、いの角度は、それぞれ何度でしょうか。

角あ (**140°**)

角い (**40°**)

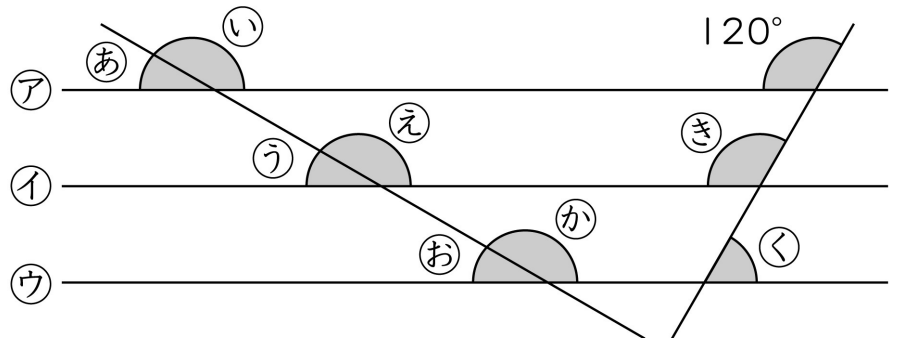


③ 直線ア、イ、ウは平行です。次の問いに答えましょう。

① あ、いの角と等しい角度になっている角はどれでしょうか。

角あ (**う、お**)

角い (**え、か**)



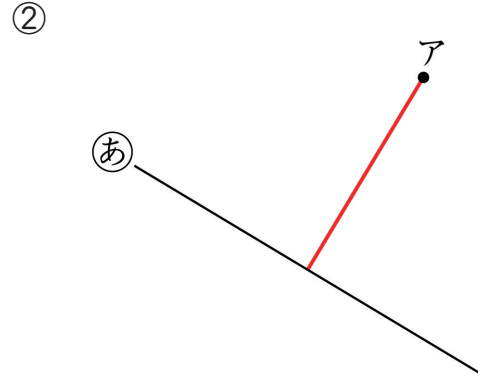
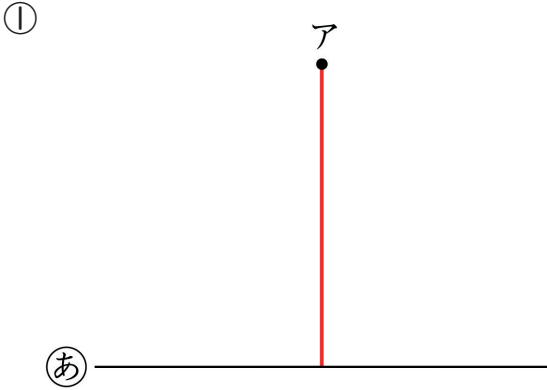
② き、くの角度は、それぞれ何度でしょうか。

角き (**120°**) 角く (**60°**)

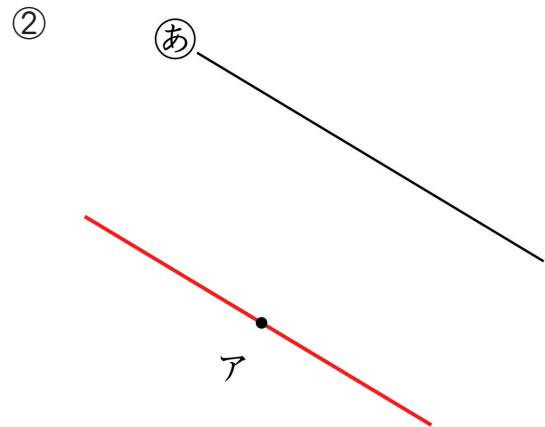
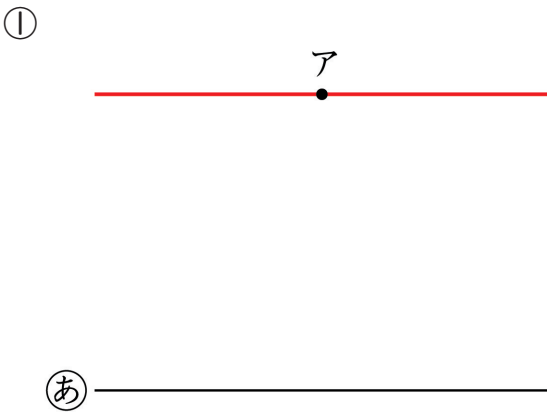
ねらい 垂直や平行の関係にある直線を作図することができる。

考(技)知

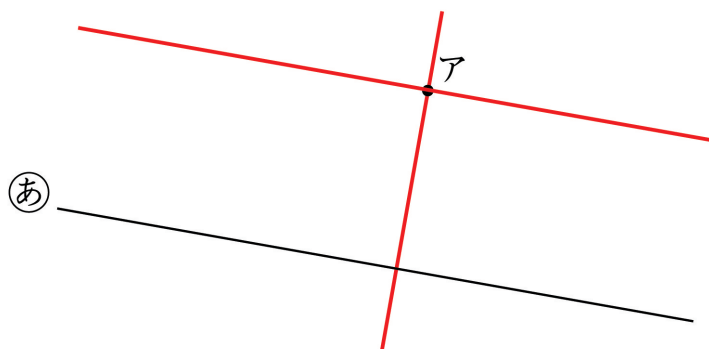
① 点アを^{すいちよく}通って、直線あに垂直な直線をかきましょう。



② 点アを^{すいちよく}通って、直線あに平行な直線をかきましょう。



③ 点アを^{すいちよく}通って、直線あに垂直な直線と、平行な直線をそれぞれかきましょう。



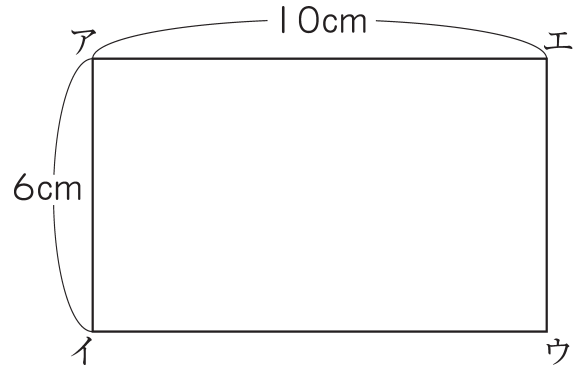
ねらい 垂直、平行な直線の作図をもとに長方形の作図ができる。

考(技)知

① 右の長方形について、次の問いに答えましょう。

① どの辺とどの辺が垂直すいちよくになっているでしょうか。

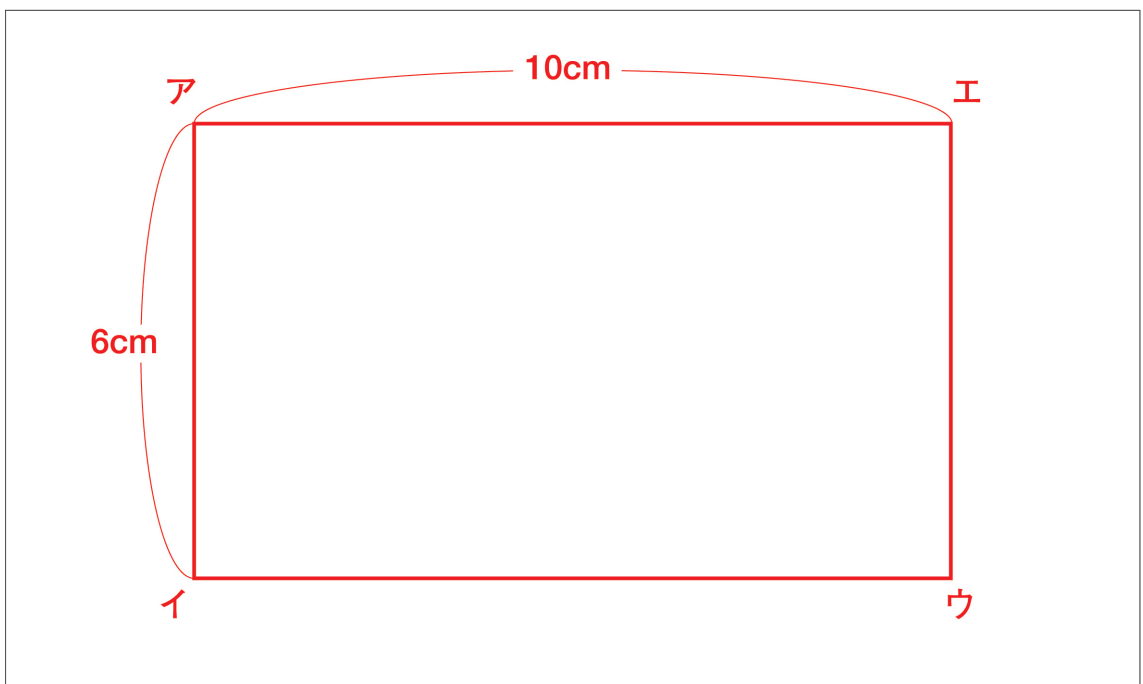
- 辺アイと辺アエ
- 辺アイと辺イウ
- 辺エウと辺アエ
- 辺エウと辺イウ



② どの辺とどの辺が平行になっているでしょうか。

- 辺アイと辺エウ
- 辺アエと辺イウ

③ 垂直な直線や平行な直線のかき方を使って、上のような長方形をかきましょう。



12. 垂直、平行と四角形 ⑥

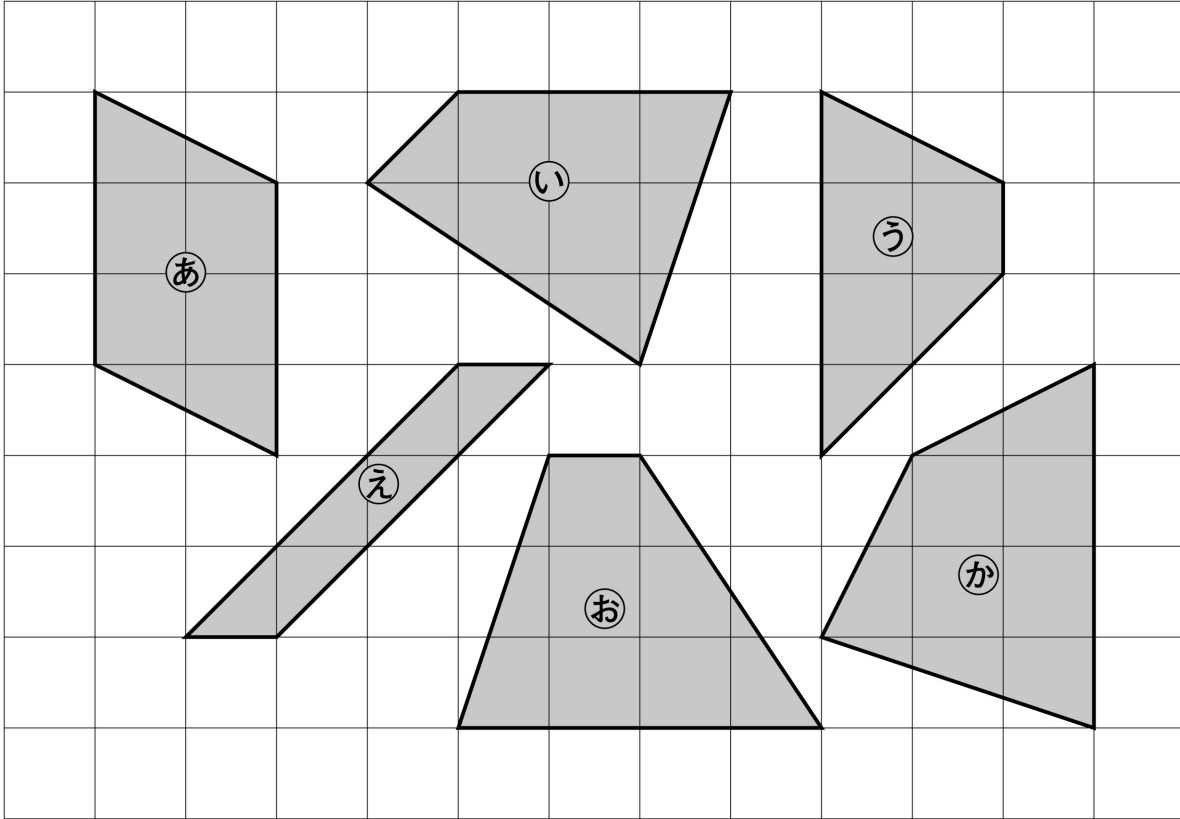
名前

組 番

ねらい 台形、平行四辺形の意味を理解することができる。

考技 (知)

① 下の四角形の中から、台形、平行四辺形を見つけて、()の中に記号を書きましょう。



台形 (う お) 平行四辺形 (あ え)

② ()にあてはまる言葉を書きましょう。

① 台形は、(向かい合った) 1組の (辺) が (平行) な四角形です。

② 平行四辺形は、(向かい合った) 2組の (辺) が (平行) な四角形です。

97

12. 垂直、平行と四角形 ⑦

名前

組 番

ねらい 平行四辺形の意味、性質を理解する。

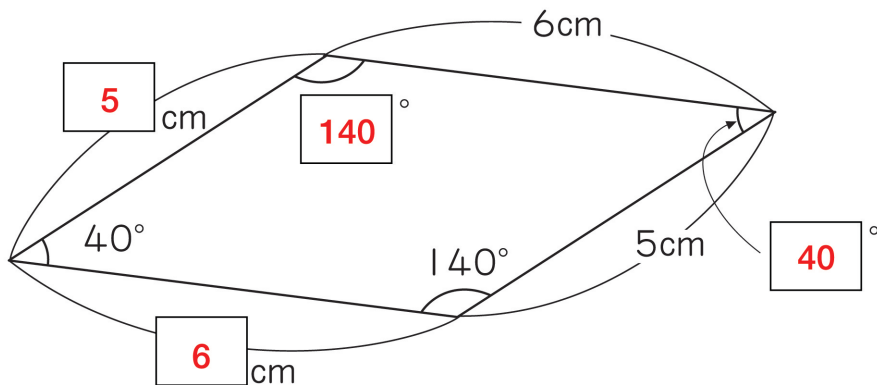
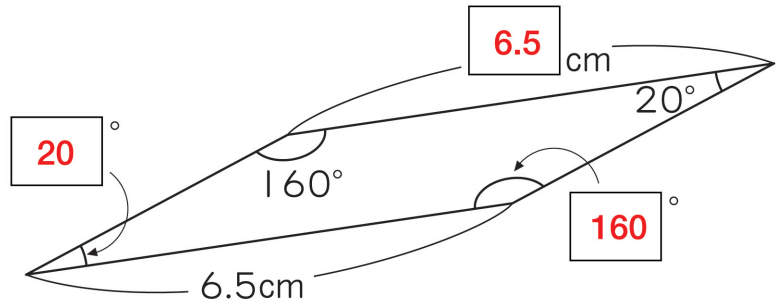
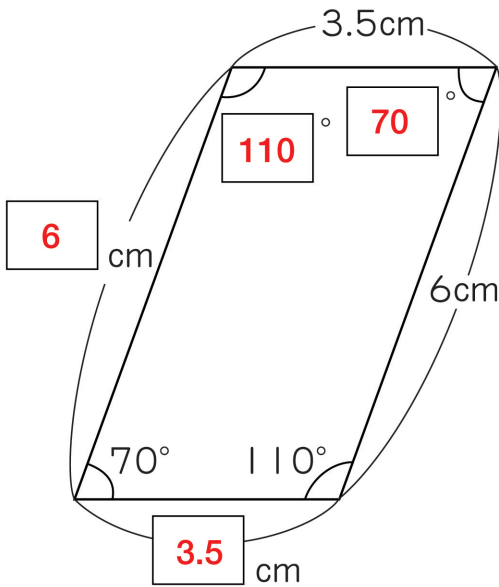
考技(知)

① () にあてはまる言葉を書きましょう。

平行四辺形では、次のことがいえます。

- ① 平行四辺形は、向かい合った辺の (**長さ**) は (**等しく**) なっています。
- ② 平行四辺形は、向かい合った角の (**大きさ**) は (**等しく**) なっています。

② 下にかかれた四角形は平行四辺形です。□にあてはまる数を書きましょう。



12. 垂直、平行と四角形 ⑧

名前

組 番

ねらい ひし形の意味、性質を理解する。

考技(知)

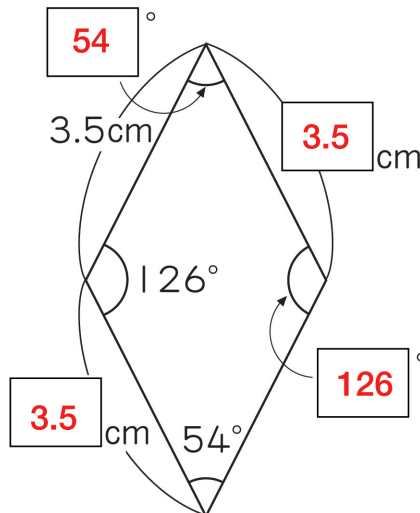
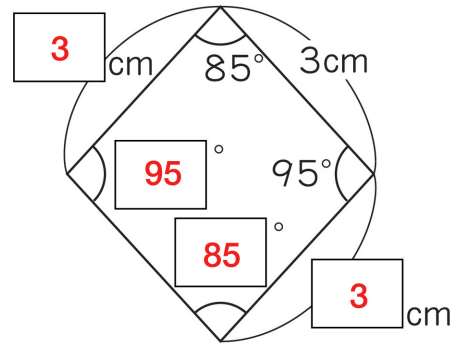
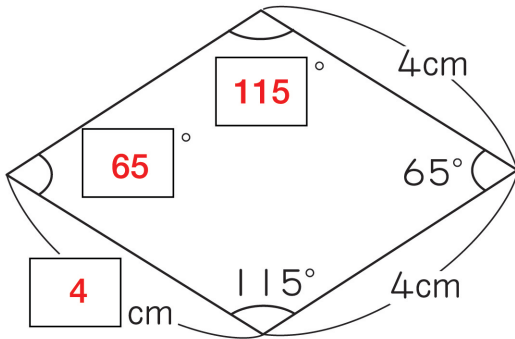
① () にあてはまる言葉を書きましょう。

4つの辺の(**長さ**)が、すべて(**等しい**)四角形を、
ひし形といいます。

ひし形では、次のことがいえます。

- ① 向かい合った辺は(**平行**)になっています。
- ② 向かい合った角の(**大きさ**)は(**等しく**)になっています。

② 下のようなひし形があります。□にあてはまる数を書きましょう。



99

12. 垂直、平行と四角形 ⑨

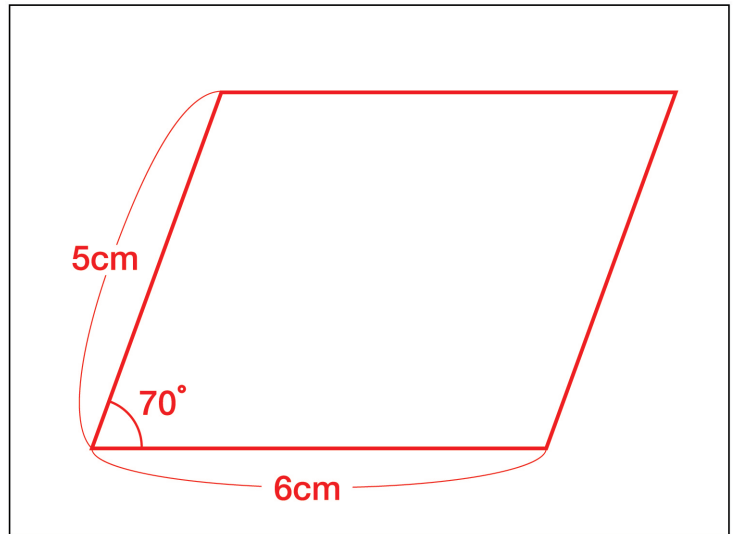
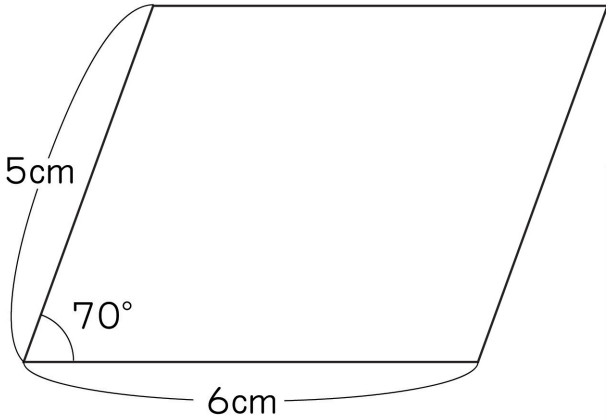
名前

組番

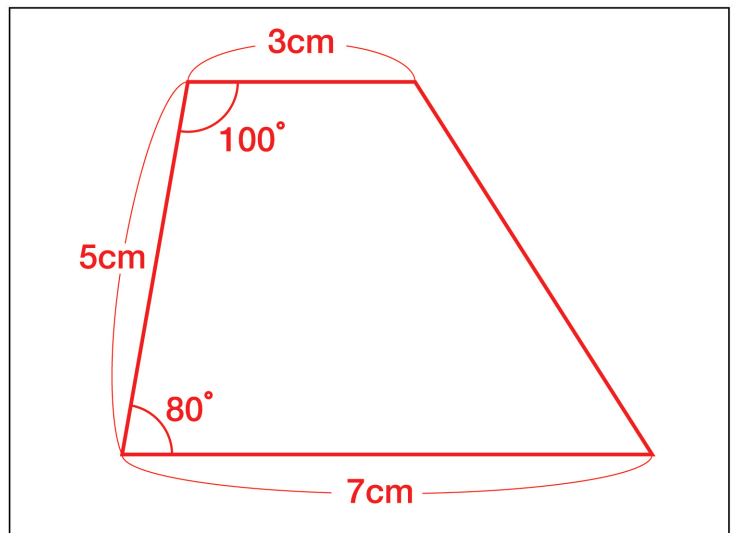
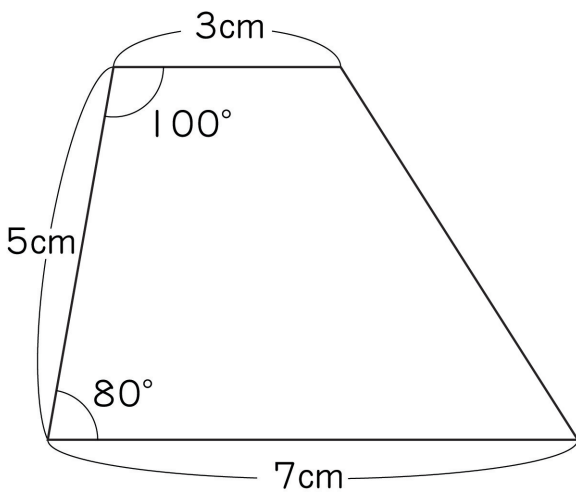
ねらい 平行四辺形、台形の作図ができる。

考(技)知

① 下の平行四辺形を□の中にかきましょう。



② 下の台形を□の中にかきましょう。



100

12. 垂直、平行と四角形 ⑩

名前

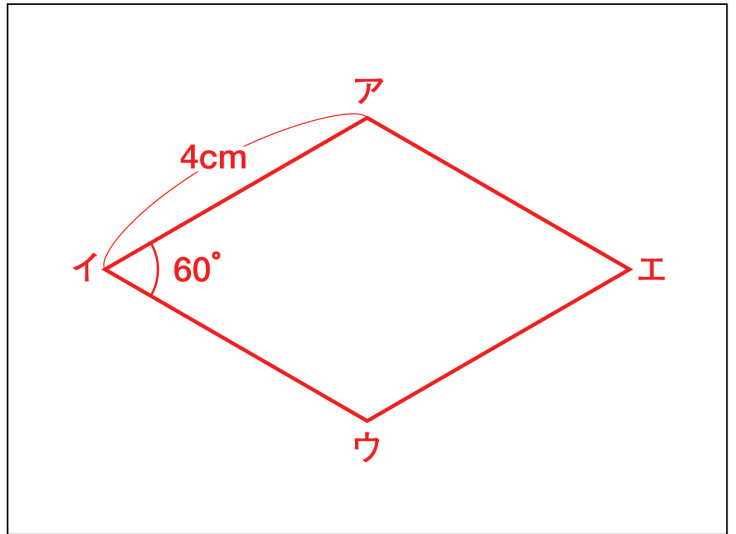
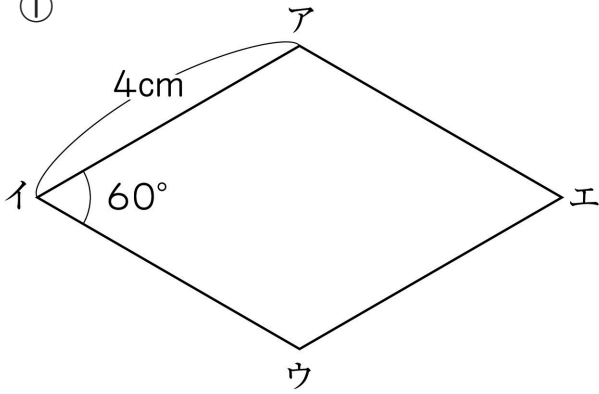
組番

ねらい ひし形の作図ができる。

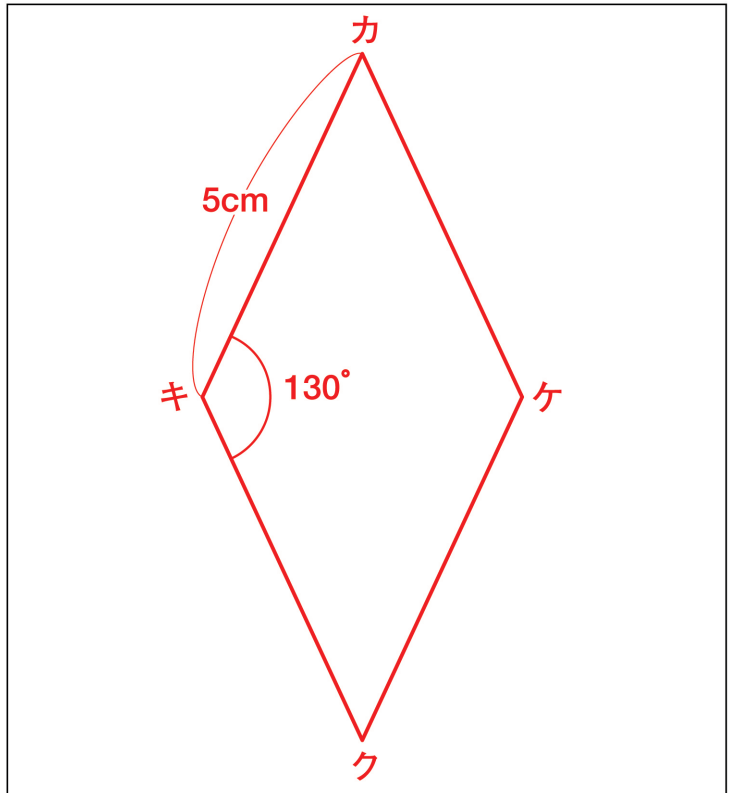
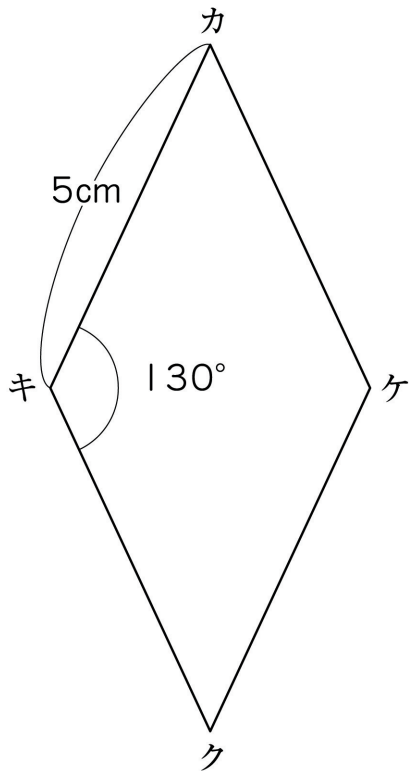
考(技)知

① コンパスと分度器と定規を使って、下のようないし形をかきましょう。
頂点に記号もつけましょう。

①



②



101

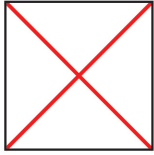
12. 垂直、平行と四角形 ⑪

名前

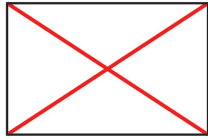
組 番

ねらい 平行四辺形、ひし形の対角線の性質をもとに作図の仕方を考える。 ⑤ 技 知

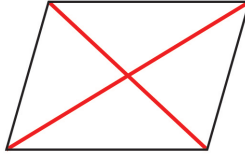
① 下の四角形で、向き合った頂点を直線で結びましょう。



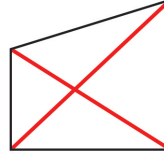
(正方形)



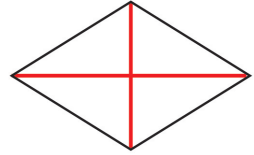
(長方形)



(平行四辺形)



(台形)



(ひし形)

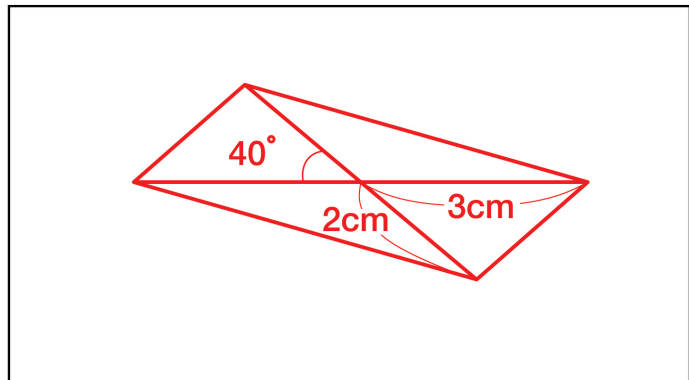
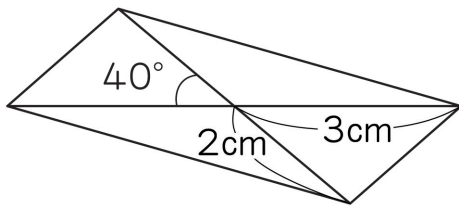
② 次の () にあてはまる言葉を書きましょう。

向かい合った頂点を結ぶ直線を、(対角線) といいます。

③ 次の表で、いつでもあてはまるところに○を書きましょう。

とく 特ちょう	名前	正方形	長方形	ひし形	平行 四辺形	台形
2本の対角線の長さが等しい。		○	○			
対角線が交わった点で、それぞれが2等分されている。		○	○	○	○	
2本の対角線が交わった点から4つの頂点までの長さが等しい。		○	○			
2本の対角線が垂直 <small>すいちよく</small> になっている。		○		○		

④ 次のような平行四辺形をかきましょう。



12. 垂直、平行と四角形 ⑫

名前

組 番

ねらい ひし形などの図形の性質について理解を深める。

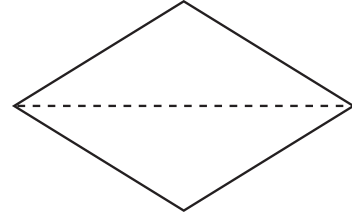
考技(知)

① ひし形について、□にあてはまる数を、()にはあてはまる言葉を書きましょう。

① ひし形を1本の対角線で切ると、

2 つの

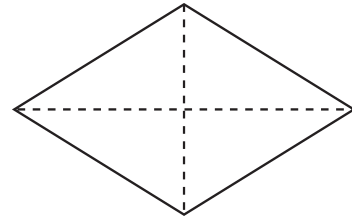
(二等辺三角形) ができる。



② ひし形を2本の対角線で切ると、

4 つの

(直角三角形) ができる。



② あてはまるものを次のア〜クの中からすべて^{えら}選び、表の()に記号を書きましょう。

図形	1本の対角線で切ったとき		2本の対角線で切ったとき	
平行四辺形		(ア)		(エ)
長方形		(ア キ)		(エ カ)
正方形		(ア カ キ)		(イ カ キ)
台形		(ウ)		(オ)

ア. 2つの同じ形の三角形ができる。

イ. 4つの同じ形の三角形ができる。

ウ. 2つの三角形ができるが、同じ形ではない。

エ. 4つの三角形ができて、2つずつが同じ形の三角形である。

オ. 4つの三角形ができるが、すべて同じ形ではない。

カ. できる三角形は、すべて二等辺三角形。

キ. できる三角形は、すべて直角三角形。

ク. できる三角形は、すべて正三角形。

12. 垂直、平行と四角形 ⑬

名前

組 番

ねらい

同じ形（合同）の平行四辺形や台形を敷き詰めた図のかき方を考える。

④ 技知

- ① 形も大きさも同じ平行四辺形や台形をしきつめた図を、長さをはからずにコンパスと定規じょうぎを使って、下の平行な2直線の中にかきましょう。

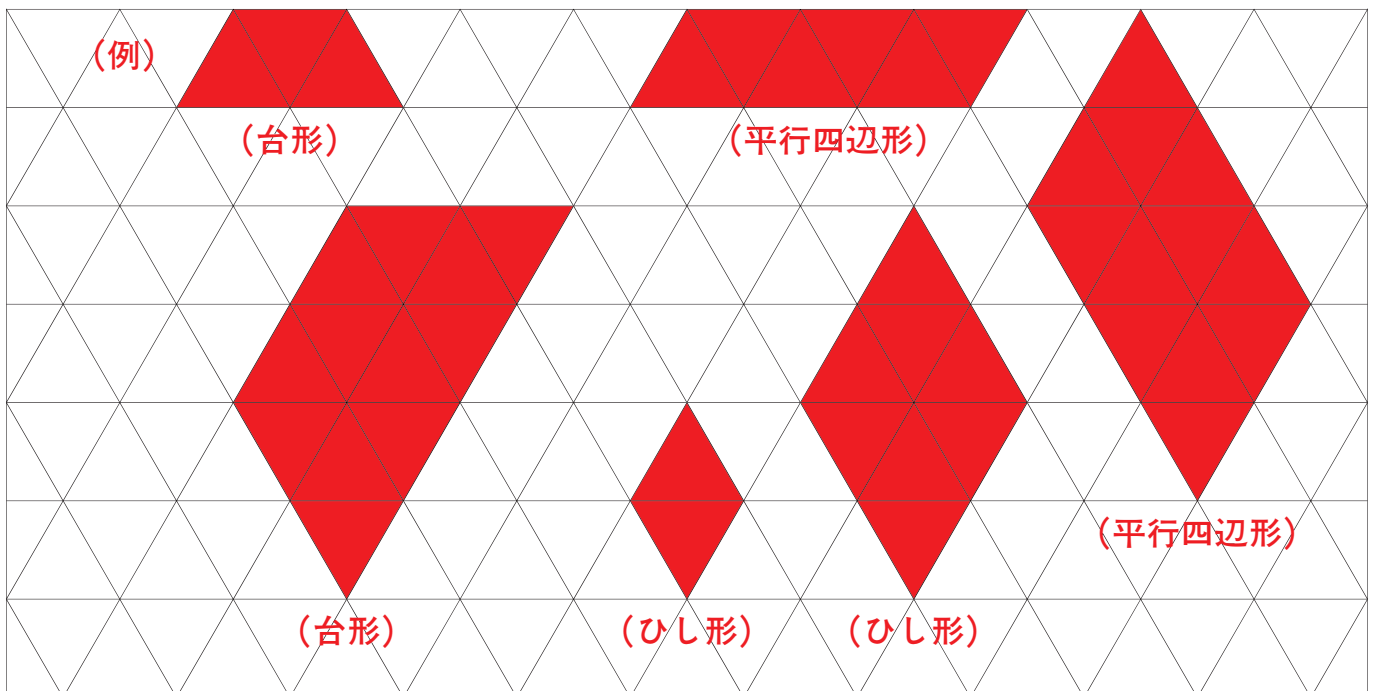
〈平行四辺形〉



〈台形〉



- ② 正三角形をしきつめた図の中に、台形、平行四辺形、ひし形を見つけることができます。それぞれ大きさの異なるものを2つずつ見つけて、色をぬりましょう。



104

13. 変わり方 ①

名前

組 番

ねらい

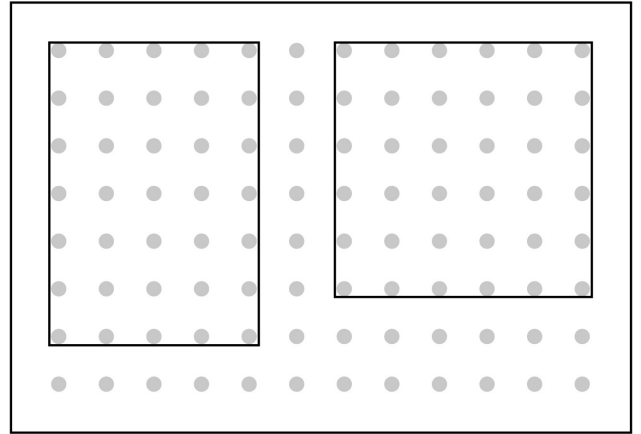
伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。

④ 技知

① まわりの長さが20cmのいろいろな長方形を作ります。

① 横の長さが次の長さのとき、
たての長さは何cmになるでしょうか。
□にあてはまる数を書きましょう。

- ア. 横4cm、たて cm
- イ. 横5cm、たて cm
- ウ. 横7cm、たて cm



② 横の長さが4cm、5cm、7cmの長方形のほかに、どんな^{へん}辺の長さの長方形ができるでしょうか。
□にあてはまる数を書きましょう。

横の長さ (cm)	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="4"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="5"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="7"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="1"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="2"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="3"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="6"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="8"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="9"/>
たての長さ (cm)	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="6"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="5"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="3"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="9"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="8"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="7"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="4"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="2"/>	<input style="width: 30px; text-align: center;" type="text" value="1"/>

※答えは例です。順不同。

③ 横の長さとなての長さを、下の表に整理しましょう。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
たての長さ (cm)	9	8	7	6	5	4	3	2	1

13. 変わり方 ②

名前

組 番

ねらい 伴って変わる2つの数量の関係を式やグラフに表すことができる。 考(技)知

① 下の表はまわりの長さが20cmの長方形の長さが1cm、2cm、……とふえるとき、たての長さがどのように変わるか、表に表したものです。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
たての長さ (cm)	9	8	7	6	5	4	3	2	1

↑ 1ふえる ↑ 1ふえる ↑ 1ふえる

↓ ? ↓ ? ↓ ?

① 横の長さが1cm、2cm、……と1cmずつふえると、たての長さは、どのように変わるでしょうか。

(たての長さは、9cm、8cm、7cm、……と1cmずつへる)

② 横の長さとなての長さをたした数は、どのようになっているでしょうか。

(たした数はどこも10)

3	4	5
7	6	5

③ 横の長さを○cm、たての長さを△cmとして、横の長さとなての長さの関係を式に表しましょう。

($\bigcirc + \triangle = 10$)

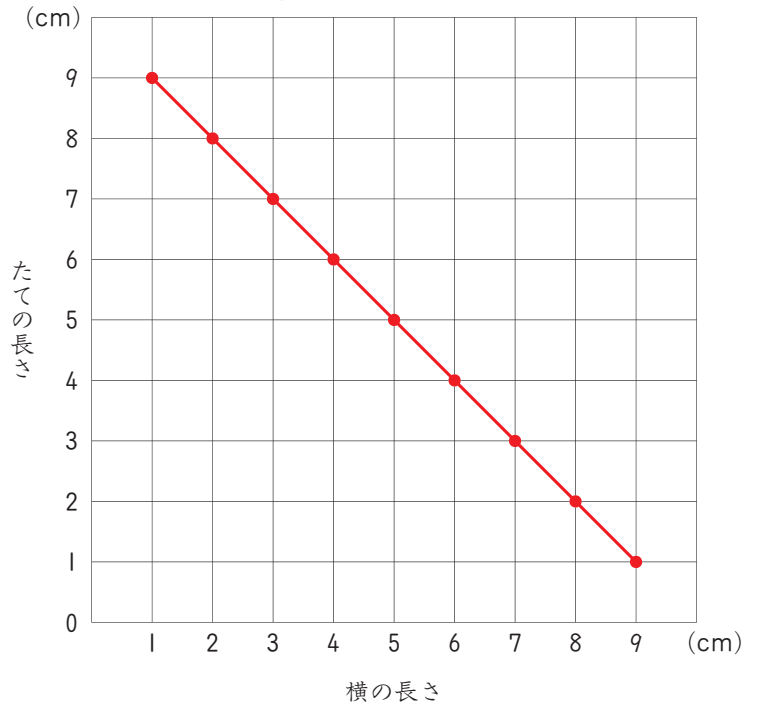
④ 横の長さを1cmから9cmまで変えたときの横の長さとなての長さの関係をグラフに表しましょう。

また、点はどのようにならんでいるでしょうか。

(右下がりの直線上にいらんでいる。)

⑤ 点を線で結びましょう。

まわりの長さが20cmの長方形の横となての長さ



13. 変わり方 ③

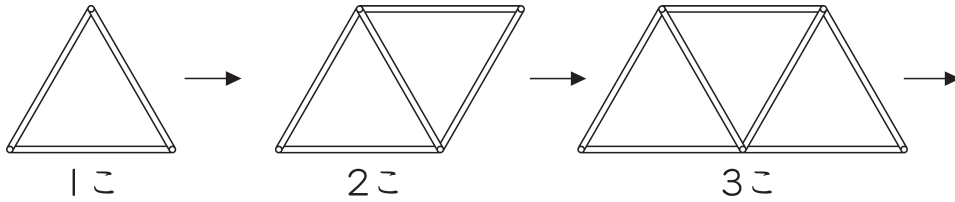
名前

組 番

ねらい 伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べる (考) 技知
 ことができる。

① 下の図のように、同じ長さのストローを使って、正三角形を横にならべた形を作ります。

正三角形のこ数をふやしていくときの、ストローの本数を調べましょう。



① ともな^かって変わる2つの量を見つけましょう。

(**正三角形のこ数**) と (**ストローの本数**)

② 正三角形のこ数が、1こ、2こ、3こ、……のときのストローの本数を調べて、下の表に整理しましょう。

正三角形の数(こ)	1	2	3	4	5	6	7	
ストローの数(本)	3	5	7	9	11	13	15	

③ 正三角形のこ数が1こふえると、ストローの本数は何本ふえるでしょうか。

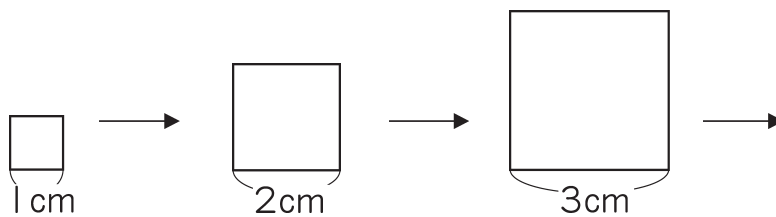
2 本ふえる。

④ 正三角形を15こ作るには、ストローは何本いるでしょうか。

$3 + 2 \times 14 = 31$

31 本。

② 下の図のように、正方形の1^{いっぺん}辺の長さを変えていきます。



1辺の長さが○cmのときの周りの長さを△cmとして、○と△^{かんけい}の関係を式に表しましょう。

(**$\bigcirc \times 4 = \Delta$**)

107

13. 変わり方 ④

名前

組 番

ねらい 伴って変わる2つの数量の関係を式に表し、表やグラフに表して **考** 技知 変化の特徴を調べることができる。

1 1まい20円の画用紙を買うときの、画用紙のまい数と代金の関係を考えましょう。

① 画用紙のまい数を○まい、代金を△円として、○と△の関係を式に表しましょう。

〈式〉 $20 \times \bigcirc = \triangle$

② 画用紙のまい数と代金の関係を、表に書いて調べましょう。

画用紙のまい数(まい)	1	2	3	4	5	6	7
代金 (円)	20	40	60	80	100	120	140

③ 画用紙のまい数が1ふえると、20円ふえる。代金は何円ふえるでしょうか。

④ 画用紙のまい数が2倍、3倍、……となると、代金はどのように変わるでしょうか。

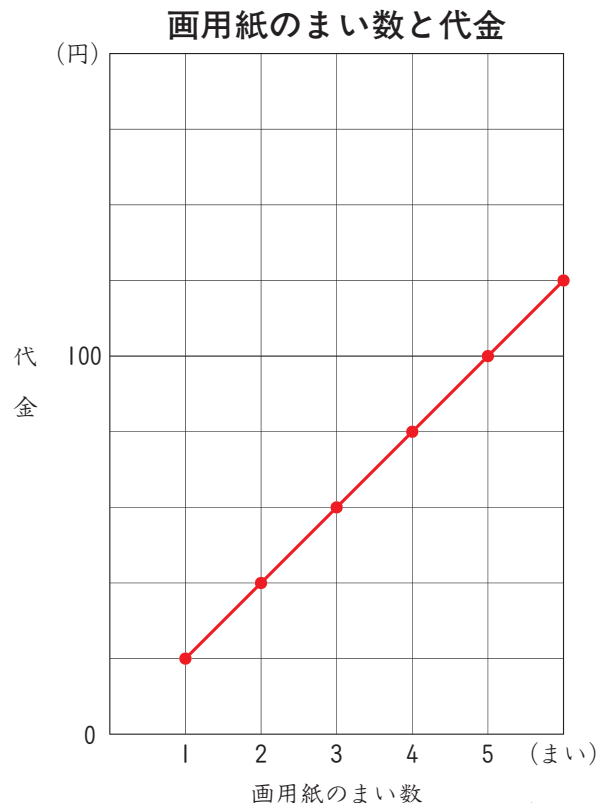
(代金も2倍、3倍、……となる。)

⑤ 画用紙のまい数と、代金の関係をグラフに表しましょう。

点はどのようにならんでいるでしょうか。

(右上がりの直線上にいらんでいる。)

⑥ 点を線で結びましょう。



13. 変わり方 ⑤

名前

組 番

ねらい

表を使って変わり方のきまりを見出し、問題を解決することができる。

④ 技 知

① 1まい30円の絵はがきと、1まい40円の絵はがきをあわせて20まい買って、700円はらいました。

30円の絵はがきと40円の絵はがきを、それぞれ何まい買ったことになるでしょうか。

① 1まい30円の絵はがきの数と、1まい40円の絵はがきの数の^{かんけい}関係を、表に書いて調べましょう。

30円の絵はがきの数(まい)	0	1	2	3	4	5	6	
40円の絵はがきの数(まい)	20	19	18	17	16	15	14	
合計金がかく (円)	800	790	780	770	760	750	740	

② 30円の絵はがきのまい数や40円の絵はがきのまい数を変えたときの金がかくの合計を調べて、表の下の方に書きましょう。

③ 変わり方に目をつけて、この問題をといてみましょう。

の中にあてはまる数を書きましょう。

上の表から1まい40円の絵はがきを20まい買うと、金がかくは 円になり、

1まい30円の絵はがきを1まいずつ多く買うと、金がかくは 円ずつ少なくなる。

700円は800円より 円少ないので、1まい30円の絵はがきを まい

買ったことになる。

だから、1まい40円の絵はがきを まい、1まい30円の絵はがきを

まい買ったことになる。